

資料1 現学校給食センター 竣工図

現学校給食センター 竣工図書 抜粋版

竣工図及び厨房機器配置図

山形市学校給食センター新築工事

竣 工 図

■建

築

■電

気

■外

構

■給排水衛生

■構

造

■空調・換気

■昇 降 機

着工時：2008.04.01

竣工時：2009.03.31

施工者：山形建設・鹿島道路共同企業体

図面番号	内 容
00	表紙・図面リスト
01-09	特記仕様書（1）～（9）
10	工事区分表

図面番号	建 築（意匠）
A- 01	敷地求積図
A- 02	配置図
A- 03	1階求積図
A- 04	2階求積図
A- 05	各階求積表
A- 06	防火防煙区画求積表
A- 07	外部仕上表・内部仕上表（1）
A- 08	内部仕上表（2）
A- 09	内部仕上表（3）
A- 10	ビット平面図
A- 11	1階平面図
A- 12	2階平面図
A- 13	屋根伏図
A- 14	立面図
A- 15	断面図
A- 16	短計図（1）
A- 17	短計図（2）
A- 18	短計図（3）
A- 19	平面詳細図（1）（1階）
A- 20	平面詳細図（2）（1階）
A- 21	平面詳細図（3）（1階）
A- 22	平面詳細図（4）（1階）
A- 23	平面詳細図（5）（1階）
A- 24	平面詳細図（6）（1階）
A- 25	平面詳細図（7）（1階）
A- 26	平面詳細図（8）（1階）
A- 27	平面詳細図（9）（2階）
A- 28	平面詳細図（10）（2階）
A- 29	平面詳細図（11）（2階）
A- 30	展開図（1）
A- 31	展開図（2）
A- 32	階段詳細図（1）
A- 33	階段詳細図（2）
A- 34	建具配置図（1）
A- 35	建具配置図（2）
A- 36	建具表（a1）
A- 37	建具表（a2）
A- 38	建具表（a3）
A- 39	建具表（b1）
A- 40	建具表（b2）
A- 41	建具表（b3及びC）

A- 42	カーテンウォール詳細図（1）
A- 43	カーテンウォール詳細図（2）
A- 44	カーテンウォール詳細図（3）
A- 45	エキスパンションジョイント詳細図
A- 46	排水溝詳細図（1）
A- 47	排水溝詳細図（2）
A- 48	雑排水図（1）
A- 49	雑排水図（2）
A- 50	雑排水図（3）
A- 51	雑排水図（4）
A- 52	欠番
A- 53	雨水排水計画図
A- 54	外構計画図・植栽計画図
A- 55	外構詳細図（1）
A- 56	外構詳細図（2）
A- 57	外構詳細図（3）
A- 58	兼用E.V.詳細図（1）（参考図）
A- 59	兼用E.V.詳細図（2）（参考図）
A- 60	E.V.中央監視室詳細図
A- 61	小荷物専用昇降機詳細図（1）（参考図）
A- 62	小荷物専用昇降機詳細図（2）（参考図）
A- 63	厨房機器配置図（参考図）
A- 64	調理機リスト（1）（参考図）
A- 65	調理機リスト（2）（参考図）
A- 66	調理機リスト（3）（参考図）
A- 67	調理機リスト（4）（参考図）
A- 68	ダクト断面詳細図（参考図）
A- 69	ダクト1階平面図（参考図）
A- 70	ダクト2階平面図（参考図）
A- 71	2階配管平面図（参考図）

図面番号	建 築（構造）
S- a01	建築構造特記事項
S- a02	鉄筋コンクリート配筋標準図
S- a03	鉄骨一般共通事項〔溶接要領〕
S- a04	スベーサー基準図
S- a05	梁貫通孔補強要領（RC造）
S- a06	鉄骨一般共通事項〔溶接要領〕
S- a07	鉄骨標準図〔S〕（1）
S- a08	鉄骨標準図〔S〕（2）
S- a09	鉄骨継手リスト〔S〕梁・柱
S- a10	ベースバック柱脚工法設計施工標準図
S- a11	合成スラブ設計・施工標準仕様書（1）
S- a12	合成スラブ設計・施工標準仕様書（2）
S- a13	ボーリング柱状図（1）
S- a14	ボーリング柱状図（2）

S- a15	ソイルセメントコラム地業特記仕様書
S- a16	伏図（1）〔ソイルセメントコラム伏図〕
S- a17	伏図（2）〔基礎伏図〕
S- a18	伏図（3）〔Z1伏図〕
S- a19	伏図（4）〔Z2伏図〕
S- a20	伏図（5）〔Z R伏図〕
S- a21	軸組図（1）
S- a22	軸組図（2）
S- a23	軸組図（3）
S- a24	軸組図（4）
S- a25	基礎リスト（1）
S- a26	基礎リスト（2）
S- a27	地中梁リスト（1）
S- a28	地中梁リスト（2）
S- a29	地中梁リスト（3）
S- a30	鉄骨部材リスト
S- a31	柱脚詳細図（1）
S- a32	床・鉄骨小梁リスト
S- a33	雑配筋詳細図（1）
S- a34	雑配筋詳細図（2）
S- a35	鉄骨詳細図
S- a36	階段詳細図
S- a37	天井・機器床置き伏図〔Z2〕
S- a38	天井・機器吊り伏図〔Z R〕
S- a39	シャッター受け材伏図
S- a40	外構詳細図（1）
S- a41	外構詳細図（2）
S- a42	外構詳細図（3）

S- b01	建築構造特記事項
S- b02	鉄筋コンクリート配筋標準図
S- b03	コンクリートひび割れ防止要領図
S- b04	スベーサー基準図
S- b05	梁貫通孔補強要領（RC造）
S- b06	鉄骨一般共通事項〔溶接要領〕
S- b07	鉄骨標準図〔S〕（1）
S- b08	鉄骨標準図〔S〕（2）
S- b09	鉄骨継手リスト〔S〕梁・柱
S- b10	ベースバック柱脚工法設計施工標準図
S- b11	合成スラブ設計・施工標準仕様書（1）
S- b12	合成スラブ設計・施工標準仕様書（2）
S- b13	ボーリング柱状図（1）
S- b14	ボーリング柱状図（2）
S- b15	ソイルセメントコラム地業特記仕様書
S- b16	伏図（1）〔ソイルセメントコラム伏図〕
S- b17	伏図（2）〔基礎伏図〕

S- b18	伏図（3）〔Z1伏図〕
S- b19	伏図（4）〔Z2伏図〕
S- b20	伏図（5）〔Z R伏図〕
S- b21	軸組図（1）
S- b22	軸組図（2）
S- b23	軸組図（3）
S- b24	軸組図（4）
S- b25	基礎リスト（1）
S- b26	基礎リスト（2）
S- b27	地中梁リスト（1）
S- b28	地中梁リスト（2）
S- b29	地中梁リスト（3）
S- b30	鉄骨部材リスト
S- b31	柱脚詳細図
S- b32	床・鉄骨小梁リスト
S- b33	雑配筋詳細図（1）
S- b34	雑配筋詳細図（2）
S- b35	鉄骨詳細図
S- b36	階段詳細図
S- b37	天井・機器床置き伏図〔Z2〕
S- b38	天井・機器吊り伏図〔Z R〕
S- b39	シャッター受け材伏図

S- c01	建築構造特記事項
S- c02	鉄筋コンクリート配筋標準図
S- c03	コンクリートひび割れ防止要領図
S- c04	スベーサー基準図
S- c05	梁貫通孔補強要領（RC造）
S- c06	ボーリング柱状図（1）
S- c07	ボーリング柱状図（2）
S- c08	ソイルセメントコラム地業特記仕様書
S- c09	厨房除害槽 構造図

図面番号	電 気 設 備
E- 01	特記仕様書（1）
E- 02	特記仕様書（2）
E- 03	特記仕様書（3）
E- 04	工事区分表
E- 05	電気設備工事凡例
E- 06	機械設備設備カメラシステム図
E- 07	受変電設備単線結線図-1
E- 08	受変電設備単線結線図-2
E- 09	受変電設備単線結線図-3
E- 10	受変電設備機器外形図
E- 11	幹線系統図
E- 12	動力盤表-1

E- 13	動力盤表-2
E- 14	動力盤表-3
E- 15	動力盤表-4
E- 16	動力盤表-5
E- 17	動力盤表-6
E- 18	動力盤表-7
E- 19	分電盤表-1
E- 20	分電盤表-2
E- 21	分電盤表-3
E- 22	分電盤表-4
E- 23	分電盤表-5
E- 24	分電盤表-6
E- 25	幹線・動力設備 1階平面図
E- 26	幹線・動力設備 2階平面図
E- 27	厨房機器設備 1階平面図
E- 28	照明器具要図
E- 29	電灯設備 1階平面図
E- 30	電灯設備 2階平面図
E- 31	非常照明・誘導灯器具要図
E- 32	非常照明・誘導灯設備 1階平面図
E- 33	非常照明・誘導灯設備 2階平面図
E- 34	コンセント設備 1階平面図
E- 35	コンセント設備 2階平面図
E- 36	コンセント設備 R階平面図
E- 37	制気ローター設備 1階平面図
E- 38	電話・テレビ共聴・LAN設備 系統図
E- 39	構内電話交換機設備仕様書
E- 40	温度管理・インタホン・WC呼出設備 系統図
E- 41	弱電設備 1階平面図
E- 42	弱電設備 2階平面図
E- 43	放送設備 系統図
E- 44	放送設備 ブロック図・機器要図
E- 45	放送設備 1階平面図
E- 46	放送設備 2階平面図
E- 47	自動火災報知設備 特記・凡例・点数表
E- 48	自動火災報知設備 幹線系統図
E- 49	自動火災報知設備 1階平面図
E- 50	自動火災報知設備 2階平面図
E- 51	機械設備設備系統図
E- 52	機械設備設備カメラシステム図
E- 53	機械設備設備警備配線1階平面図
E- 54	機械設備設備警備配線2階平面図
E- 55	機械設備設備カメラ配線1階平面図
E- 56	厨房除害槽電気設備図
E- 57	別棟図面（駐輪場、車庫、受水槽* ンク室）電気設備図

図面番号	機 械 設 備
PM- 01	特記仕様書（1）
PM- 02	特記仕様書（2）
PM- 03	特記仕様書（3）
PM- 04	特記仕様書（4）
PM- 05	特記仕様書（5）
PM- 06	特記仕様書（6）
PM- 07	工事区分表

P- 01	衛生設備 外構図
P- 02	衛生設備 機器表 樹リスト
P- 03	衛生設備 器具表（A棟・B棟）
P- 04	衛生設備 系統図
P- 05	衛生設備 1階（床下配管）平面図（給水、給湯、ガス、蒸気）
P- 06	衛生設備 1階（天井配管）平面図（給水、給湯、ガス、蒸気）
P- 07	衛生設備 2階平面図（給水、給湯、ガス、蒸気）
P- 08	衛生設備 1階平面図（排水）
P- 09	衛生設備 2階平面図（排水）
P- 10	衛生設備 平面詳細図（1）
P- 11	衛生設備 平面詳細図（2）
P- 12	衛生設備 受水槽廻り詳細図
P- 13	衛生設備 ボイラー室詳細図
P- 14	製缶類詳細図（1）〈運水槽〉
P- 15	製缶類詳細図（2）〈貯湯槽〉
P- 16	製缶類詳細図（3）〈中和処理槽〉
P- 17	衛生設備 煙突詳細図
P- 18	衛生設備 ボイラー煙導詳細図
P- 19	厨房除害設備 フローシート
P- 20	厨房除害設備 平面図
P- 21	厨房除害設備 断面図
P- 22	厨房除害設備 動力配線図
P- 23	厨房除害設備 単線結線図・盤要図

M- 01	空調換気設備 機器表（1）
M- 02	空調換気設備 機器表（2）
M- 03	空調換気設備 機器表（3）
M- 04	空調換気設備 機器表（4）
M- 05	空調換気設備 制気口リスト（A棟）
M- 06	空調換気設備 制気口リスト（B棟）
M- 07	空調換気設備 フードリスト
M- 08	空調設備 ダクト系統図
M- 09	空調換気ダクト 1階平面図
M- 10	空調換気ダクト 2階平面図
M- 11	空調設備 配管系統図
M- 12	空調配管設備 ビット階平面図
M- 13	空調配管設備 1階平面図

M- 14	空調配管設備 2階平面図
M- 15	自動制御設備 計装図（1）
M- 16	自動制御設備 計装図（2）
M- 17	自動制御設備 計装図（3）
M- 18	自動制御設備 計装図（4）
M- 19	自動制御設備 計装図（5）
M- 20	自動制御設備 計装図（6）
M- 21	自動制御設備 機器表・バルブロ程表・盤寸法表
M- 22	自動制御設備 中央監視システム（1）
M- 23	自動制御設備 中央監視システム（2）
M- 24	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表（1）
M- 25	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表（2）
M- 26	自動制御設備 機器凡例・配線明細
M- 27	自動制御設備 外構図平面図
M- 28	自動制御設備 1階平面図
M- 29	自動制御設備 2階平面図

竣 工 図



株式会社 I N A 新建築研究所
東京・札幌・東北・名古屋・大阪・九州

訂 正

-	-	-	発 行	作 成	プロジェクト名称	プロジェクトコード	一般建築士事務所 東京都知事登録第 3100 号
-	-	-	承認	建設	山形市学校給食センター新築工事	508111	管理 建築士 龍 門 達 夫
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

承認	建設	担当	図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号	一般建築士登録 第 177289 号 佐 藤 英 昭
-	-	土屋、西邑、	表紙・図面リスト	1 /	00	-

INAA

A. 工事概要			
1. 工事名称	山形市学校給食センター新築工事		
2. 建築主	住 所： 山形県山形市清住町1-2-18 氏 名： 株式会社山形市学校給食サービス 代表取締役 渡邊 輝夫		
3. 敷地の位置	地名地番： 山形県山形市大字村木沢字向川原4699-4他 現 況： 更地 区 域： 都市計画区域内 用途地域： 指定なし 基準建ぺい率： 60 % 防火地域： 指定なし 基準容積率： 200 % その他の地域・地区・街区： 法22条地域 日影規制： なし その他の主な規制：		
4. 主要用途	(区分 08340) 給食センター		
5. 工事種別	<input checked="" type="radio"/> 新築 ・ 増築 ・ 改築 ・ その他 ()		
6. 工期	着工： H20 年 4 月 1 日 竣工： H21 年 3 月 31 日 (全工期 12ヶ月)		
7. 敷地	実測面積： 34,073.82 m ² 測量年月日： 測量者：		
8. 面積	前面道路：敷地北東側 道路幅員 20m 都市計画道路：敷地北西側、計画幅員 20m (・ 事業決定 <input checked="" type="radio"/> 事業未決定)		
	申請部分		申請以外の部分 (既存)
	合 計		
	建築面積	8,118.49 m ²	8,118.49 m ²
	延べ面積	9,270.74 m ²	9,270.74 m ²
内、容積対象外床面積	0 m ²	0 m ²	
容積対象延べ面積	9,270.74 m ²	9,270.74 m ²	
容積対象外床面積 (申請部分の内訳)			
駐車場	m ²	地階住宅	m ²
住宅の廊下等	m ²		
建ぺい率： 23.82 %	≦ (許可)	70 %	容積率： 27.21 %
≦ (許可)	200 %		
9. 防火対象物	(消防法施行令別表第1)： 12 項 <input checked="" type="radio"/> イ ・ ロ ・ ハ		

B. 建物概要

1. 建 築

【規模・構造】	規 模：地上 2 階・地下 - 階・塔屋 - 階	増築計画： 有・ <input checked="" type="checkbox"/>
	構 造： 鉄骨造	
	基 礎： 直接基礎	
【建築物の高さ】	最高の高さ ： G L + 9.8 m (G L = Z o = TP+107.96)	
	最高の軒の高さ ： G L + 9.335 m (水上鉄骨天端)	

【棟別床面積】

階	申請部分 (m ²)	申請以外の部分 (既存) (m ²)	合 計 (m ²)	階高 (m)	居室の天井高 (m)	主用途
	【給食センター】					
2	1,262.88		1,262.88	3.6	2.5	休憩室他
1	7,892.71		7,892.71	4.5	2.7	厨房、事務室
	【駐輪場】					
1	28.3725		28.3725			駐輪場
	【変水層ポンプ室】					
1	17.50		17.50			ポンプ室
	【厨房設備格納機械室】					
2	20.25		20.25			機械室
1	29.725		29.725			機械室
	【自動車庫庫】					
1	19.305		19.305			車庫
合計	9,270.74		9,270.74			

【設計諸元】 準耐火建築物 (不燃準財)

【許認可類】 ・省エネ法 ・水質汚濁防止法

2. 電気設備

【受電電】	・ 屋内キュービクル型 <input checked="" type="radio"/> 屋外キュービクル型
【自家発電】	・ 屋内 ・ 屋外 ・ 空冷 ・ 水冷
【静止形電源】	・ 鉛蓄電池式 ・ アルカリ蓄電池式
【中央監視制御】	・ 監視盤 (・ アナシージャナル ・ 内照式液晶ディスプレイ ・ CRTディスプレイ)
【幹線動力】	<input checked="" type="radio"/> 単相3線 210/105V <input checked="" type="radio"/> 三相3線 200V
【電灯・コンセント】	<input checked="" type="radio"/> 単相3線 210/105V <input checked="" type="radio"/> 単相2線 <input checked="" type="radio"/> 100V <input checked="" type="radio"/> 200V)
【構内交換】	・ ボタン電話式 <input checked="" type="radio"/> 交換機式
【電気時計】	・ 縦時計 (・ 壁掛形 ・ 自立形 ・ ラック形)
【拡声】	<input checked="" type="radio"/> アンブ (・ 壁掛形 ・ 自立形 <input checked="" type="radio"/> ラック形)、 <input checked="" type="radio"/> 業務放送 ・ 非常放送
【テレビ共同受信】	<input checked="" type="radio"/> アンテナ (<input checked="" type="radio"/> UHF <input checked="" type="radio"/> VHS <input checked="" type="radio"/> BS <input checked="" type="radio"/> CS) ・ CATV
【機械警備】	・ 実装 <input checked="" type="radio"/> 空配管のみ (詳細工事区分は平面図参照)
【表示】	・ 伝送方式 (・ 多線直接式 ・ バルス式) ・ 表示部 (・ LED ・ マグネット)
【インターホン】	<input checked="" type="radio"/> 親子式 <input checked="" type="radio"/> 相互式 <input checked="" type="radio"/> EV用配管配線
【ナースコール】	・ 同時通話方式 ・ 交互通話方式 ・ 自動交互通話方式
【監視カメラ】	・ 監視盤 (・ 壁掛形 ・ 自立形 <input checked="" type="radio"/> ラック形)
【構内情報送信機】	・ イーサネット方式 ・ ワイヤレス方式 <input checked="" type="radio"/> 配管配線

[illegible][illegible]

3) 工事区分

工事区分表（別図参照）による。

3. 見積条件

1) 見積用設計図書

a

見積要項（現場の説明記録、質疑応答書、追加指示事項を含む）

b

特記仕様書

c

設計図

d

標準仕様書

e

その他

要求水準書、提案書

2) 工事請負契約の条件

a

契約は下記の約款（印）による。
民間（旧団会）連合協定工事請負契約約款
その他の約款:

b

特許権などの取扱い
・特許権、実用新案権、意匠権、商標権など日本国の法令にもとづく第三者の権利の対象となっている工事材料・建築設備の機器、施工方法などを使用するときは、請負者の責任において必要な手続きを行い、費用を負担する。
・施工図などの著作権に係る本建築物に限る使用権は、発注者に移譲する。

c

部分使用、部分引渡
・契約者および設計図書により部分使用、部分引渡しに指定がある場合は、法令にもとづいて必要となる手続きについて発注者に協力する。

d

軽微な変更
・現場の納まり、取合いなどの関係で、材料の寸法、仕様、工法、取付け位置または取付け方法などを多少変更し、または取付け数量を多少増減するなどの軽微な変更は監理者の指示により行う。この場合請負代金額の増減はしない。

e

設計変更
・部分的な変更または一部の追加工事などに関して請負代金額に増減が生じた場合には、請負者は施主に先立ち、そのつど工事費の増減を精算した内訳明細書を監理者に提出して、書類によって承諾を受けた後に施工する。これらの場合の工事単価は、原則として請負代金内訳書の単価精算により、その内訳書に出精値引がある場合は、単価に調整した単価精算とする。
・工事請負者による変更提案又は施工に伴い設計変更が生ずることにより、設計・監理及び許認可費・申請・届出などの経費増を招く場合（例：特殊工法の採用、施工機の備忘基準など）は、工事請負者がその増加費用を負担する。

f

本工事を完成させるために本工事に付帯して当然必要な作業、材料等は設計図面に記載がない場合でも本工事に含む。

g

本工事に含まれる費用の補足
・施工、材料および製品の試験、見本等の作成、検査に要する費用。
・工事施工に必要な敷地周辺の障害となるものの移設と復旧。
・工事期間中の官公署への必要な届出、手続き、検査などの費用。
・工事用機器、材料などの取入れに必要な搬入口段および道路の設置とそれらに伴う補強、および後片付け。
・開発工事による公共用地・施設などの帰属手続
・製品検査等における交通費、宿泊費

h

本工事に含まれない費用の補足
・予測しなかった大規模の地下埋設物および障害物の撤去費用。
・敷地外の電力、ガス、上下水道の引込み負担金の内、工事区分表で本工事に含まないもの。
・工事目的物の含まれる諸設備（電気、ガス、上下水道、電話、地域冷暖房等）の基本料金の内、工事区分表で本工事に含まないもの。
・近隣との紛争解決に要する費用。ただし、工事施工に起因するものは請負者の負担とする。
・ＴＶ電波障害の調査および対策に対する費用。ただし、工事施工に起因するものは請負者の負担とする。
・安全祈願祭以外の式典費。ただし、式場の設置に請負者は協力する。

i

第三者、近隣住民への対策
・工事請負者は、危害防止対策、騒音・振動対策、工事用車両による交通障害対策、塵埃い餅対策など工事の進行によって発生が予想される障害に対しては、事前に万全の工事計画を立て実行し、その費用を負担する。
・これらの計画に照しては、事前に近隣住民の十分な了解を得ることによって、工事の進捗に差支えのないよう責任を持って処置する。必要場合は近隣住民と工事協定書を取り交わす。

3) 特別な材料・機器などの工法

「様式」に記述されていない特別な材料・機器などの工法は、当該製造者の指定工法による。

4) 建築材料など

本工事に使用する建築材料などは、設計図面に規定するもの、またはこれらと同等のものとす。同等のものとする場合も監理者の承認を受ける。

5) 参考図の取り扱い

設計図面に添付する参考図は、品質特性、形状、工法などを参考として記載したものであり、特に監理者の指示がない場合、その材料、形状、工法などについての特定の製造者を示すものではない。

4. 管理運営の進め方

a

着工に先立ち、設計図書の要点や監理方針などについて、監理者から工事請負者に説明を行う。工事請負者はそれを正しく理解し、的確に工事を完成させる。

b

上記の監理方針は、監理方針書にもとづき説明し、工事の進捗に応じて追加説明を行う場合があり、工事請負者は、これについても正しく理解し、的確に工事を完成させる。

c

別途工事がある場合は、監理者が行う関連工事相互の調整に賛い、各工事の円滑な進捗に協力する。

竣工図

第2章 仮設工事

① 敷地の状況確認

② 仮設計図書

③ 仮囲い

④ 監理者事務所

⑤ 工事看板

⑥ 工事用水

⑦ 工事用電力

工事の着手に先立ち下記事項の確認を行い、その結果設計図書に定められた条件を満足させることが不可能になった場合には、すみやかに監理者に申し出て、その措置について協議する。

- 敷地境界と建築物等の位置
- 敷地および道路の高低と建築物等のレベル設定
- その他の関連事項

工事の着手に先立ち、以下の事項を含む仮設計図書を作成して監理者に提出する。

<ul style="list-style-type: none"> ○ 敷地状況図 ○ 周辺状況図・近隣関係概要図 ○ 看板・仮建築物の概要、配置計画 ○ 搬出入路計画 ○ 仮設備増計画 ○ 発塵材処理計画 ○ 環境配慮計画 ・ その他： 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 敷地・道路現況図・写真 ○ 仮囲い ○ 足場・鉄橋、防災設備計画 ○ 工事用機械器具概要、配置計画 ○ 仮動力機、ガス、用水計画 ○ 警備、保安、安全計画 ○ 近隣対策計画（工事説明・公害対策等）
--	--

工事現場の敷地周囲の仮囲いは、下記による。

※ 鋼板製 S O P 仕上 高さ 3 m 以上 ・ シート囲い H=2.0m 程度 ○ バリケード

① 監理者事務所の規模

<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 0 m² 程度 ・ 6 5 m² 程度 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2 0 m² 程度 ○ 1 0 0 m² 程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 5 m² 程度 ・ m² 程度
--	--	--

○ 上記規模の他に会議室（施工者と供用で可 m² 程度）25 人程度の食糧が可能な広さ
と上記規模の他に休憩室、更衣室 m² 程度

△ 上記およびその設備、備品に要する費用は、純粋、運用費を含め工事費に含む。

② 監理事務所の上仕方は、仮設事務所の標準的な仕様とするが、監理者と協議する。

③ 監理事務所の設備、備品等

- 以下を備える。ただし、請負者と供用する場合は監理者の承諾を受ける。

<ul style="list-style-type: none"> ○ 電話 ○ 見本棚 ○ 複写器 ○ ゴム長靴・安全靴 ○ ホットボード ○ 冷暖房設備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 机・いす ○ 書棚 ○ F A X ○ 安全帯 ○ 消火器 ○ 表示看板 	<ul style="list-style-type: none"> ○ パソコン・プリンター ○ 図面箱一式 ○ 事務用品 ○ 作業着（上） ○ 検査道具一式 ○ 懐中電灯 ○ 安全帽
---	---	--

※パソコンはワード・エクセル・オートキャドおよびメールのソフトを備え適切な利用ができるものとする。
- 上記以外（ex. 応接セット、洗面設備、冷蔵庫、給茶設備、時計計、温湿度計等）は、監理者と協議して必要な場合は備える。
- 安全帽、表示看板の仕様（ロゴマーク、タイプ等）は、監理者の指示による。

設計事務所による工事監理であることを示すサインを設置する。看板（サイン）の仕様は監理者の指示による。

<p>構内既存の施設</p> <p>構内既存の施設</p>	<p>※ 利用できない</p> <p>※ 利用できない</p>	<p>・ 利用できる（※ 有償 ・ 無償）</p> <p>・ 利用できる（※ 有償 ・ 無償）</p>
-------------------------------	---------------------------------	---

(2. 2. 1)

(2. 2. 4)

(2. 3. 1)

第3章 土工事

① 埋戻し及び盛土
(表 3.2.3) (表 3.2.1)

種 別	材 料	工 法
・ A 種	山砂の類	水締め、機器による締固め
※ B 種	掘切り土の中の良質土	機器による締固め
・ C 種	他現場の建設発生土の中の良質土	機器による締固め
・ D 種	再生コンクリート砂	水締め、機器による締固め

良質土とは原則として、粘土分の少ない砂質土とする。

② 建設発生土の処理
(表 3.2.5)

※ 場外搬出適切処理

☐ 構内指定場所に敷きならし

☐ 構内指定場所にたい傾

・ 指定なし

③ 事前の確認事項

☐ 地盤

・ 埋設物

☐ 地下水

・ 既存構築物

・ 近隣の状況処理

④ 掘切り
(表 3.2.1)

※ のり面の崩壊防止

※ ひび割れの観察・地表面の移動測定

※ のり面の荷重・振動防止

・ のり面養生

⑤ 排水（逓水）
(表 3.2.2)

※ 流入水の排水、逓水

※ 排水による周辺への影響防止

・ 地盤改良

⑥ 床付け

※ 監理者の抽出検査（設計床付面に対して不陸 5 cm 未満）

・ 乱れた部分、凍結した部分の処理

⑦ 山留め
(表 3.3.1)

関係法令等を事前確認し、工事的目的に障害を預さず、安全でかつ近隣に支障を及ぼさない工法を選定して山留め計画書を作成し、監理者に提出する。

☐ 工法：シートパイル（C 種：厨房除害層部）

a. 山留め杭の撤去

☐ 撤去する

撤去の範囲（全撤去）

抜き跡の充填材（埋戻し土）

※ 存置する（竣工図に存置箇所を明記する）

(表 3.3.3)

8 逆打ち工法

下記の事項について十分検討を行い、適切な対策を講じて逆打ち計画書を作成して監理者に提出する。

- 1) 予想される先行応力に対する躯体の補強
- 2) 躯体とは別に仮受け支柱を設置する場合の工事への影響
- 3) 躯体コンクリートの水平打継ぎ部に生ずる空隙その他の欠陥
- 4) 作業条件に伴う工事目的物への影響
- 5) その他の必要事項

第4章 地業工事 (特記仕様書 構造編による)

第5章 鉄筋工事 (特記仕様書 構造編による)

第6章 コンクリート工事（特記仕様書 構造編による）

第7章 鉄骨工事 (下記以外は特記仕様書 構造編による)

①施工管理技術者	※ 適用する	※ 適用しない	(7.1.4)
②耐火保護			(7.9.2)

建築基準法施行令第107条の規定による要求性能を有するものとする。

種 別	材 料 ・ 工 法	部 位
・ ラス張りモルタル塗 (7.9.7)	—	
○ 耐火材吹付	・ 乾式吹付ロックウール ○ 半乾式吹付ロックウール ・ 湿式吹付ロックウール ・ セラミック系耐火材吹付 ・ セラミック系耐火材コテ押え (7.9.4)	防火区画部（飛散防止要）
・ 耐火板張 (7.9.5)	・ 付い酸カルシウム板 ・ ・	
・ 耐火塗料	・ ・ ・	
・ 耐火材巻付け (7.9.6)	・	

(7.12.3) (14.2.3) (表14.2.2) (18.2.4) (表18.2.3)

適用範囲 ※ 屋外露出鉄骨部材
・ 露出鉄骨部材の一部： ・ 外階段 ・ 鉄骨倉 ・ 広告塔 ・

要船めつき鋼面の素地ごしらえ
・ A種 ・ B種 +203B C種

○ 要船めつきの面鎖止め塗料
※ A種 JIS K 5629：鉛酸カルシウム鎖止めペイント（屋外、屋内に使用）
・ B種 JASS 18 M-109：変性エポキシ樹脂プライマー（屋外、屋内に使用）
・ C種 JFWS-21：水系鎖止めペイント（屋内に使用）

付着量
型鋼および鋼板製の要船めつきは、最小板圧に対するめつき付着量とする。

種別	表面処理方法	規格番号	規格名称	めつきの種類	記 号	最小板圧 (mm)
※ A種					HDZ55	4.5以上
・ B種	溶融亜鉛めつき	JIS H 8641	溶融亜鉛めつき	2種	HDZ45	3.2以上
・ C種					HDZ35	1.6以上

第8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1	補強コンクリート ブロック造	※ 16 (C種) 普通ブロック 厚さ (mm) ・ 140 ・ 150 ・ 190 ・ 16 (C種) 防水ブロック 厚さ (mm) ・ 140 ・ 150 ・ 190			(8.2.2)																																						
2	コンクリートブロック 壁造および壁	「標準」表 8.3.1 および下表による			(8.3.2)																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th><th>箇 所</th><th>厚 さ (mm)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ O8 (A種) 普通ブロック</td><td>配管ピート内人通溝</td><td>・ 100 ・ 150</td></tr> <tr> <td>・ 16 (B種) 普通ブロック</td><td>間仕切壁、地下二重壁、壁</td><td>・ 100 ・ 150</td></tr> <tr> <td>・ 16 (C種) 普通ブロック</td><td>外壁</td><td>・ 150</td></tr> <tr> <td>・ 16 (C種) 防水ブロック</td><td>外壁の化粧積み</td><td>・ 150</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>				種 別	箇 所	厚 さ (mm)	・ O8 (A種) 普通ブロック	配管ピート内人通溝	・ 100 ・ 150	・ 16 (B種) 普通ブロック	間仕切壁、地下二重壁、壁	・ 100 ・ 150	・ 16 (C種) 普通ブロック	外壁	・ 150	・ 16 (C種) 防水ブロック	外壁の化粧積み	・ 150																							
種 別	箇 所	厚 さ (mm)																																									
・ O8 (A種) 普通ブロック	配管ピート内人通溝	・ 100 ・ 150																																									
・ 16 (B種) 普通ブロック	間仕切壁、地下二重壁、壁	・ 100 ・ 150																																									
・ 16 (C種) 普通ブロック	外壁	・ 150																																									
・ 16 (C種) 防水ブロック	外壁の化粧積み	・ 150																																									
3	A L C パネル	(8.4.2) (8.4.3) (表 8.4.3) (表 8.4.4)																																									
		<p>a パネルの取付け工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>種 別 (取付け工法)</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">○ 外壁用パネル</td><td>・ 100</td><td>○ A種 (パネル緩いスライド)</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 120</td><td>○ B種 (パネル緩いボルト止め)</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 125</td><td>・ C種 (パネル緩いロッキング)</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 150</td><td>・ 横使いアンカー工法</td><td>製造会社の仕様による</td></tr> <tr> <td rowspan="5">○ 間仕切用パネル</td><td>・ 75</td><td>・ B種 (パネル横使い)</td><td>外壁用パネルB種による</td></tr> <tr> <td>○ 100</td><td>○ C種 (パネル緩い)</td><td>外壁用パネルC種による</td></tr> <tr> <td>・ 120</td><td>・ D種 (パネル緩い)</td><td>表 8.4.4</td></tr> <tr> <td>・ 150</td><td>・ E種 (パネル緩い)</td><td>表 8.4.4</td></tr> <tr> <td>・ 屋根用パネル</td><td>※ 「標準」 (8.4.5) による</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="2">○ 床用パネル</td><td>○ 100</td><td>※ 「標準」 (8.4.5) による</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 外壁用ライトパネル</td><td>・ 50</td><td>製造会社の仕様による</td></tr> </tbody> </table>				施工箇所	厚さ (mm)	種 別 (取付け工法)	備 考	○ 外壁用パネル	・ 100	○ A種 (パネル緩いスライド)		・ 120	○ B種 (パネル緩いボルト止め)		・ 125	・ C種 (パネル緩いロッキング)		・ 150	・ 横使いアンカー工法	製造会社の仕様による	○ 間仕切用パネル	・ 75	・ B種 (パネル横使い)	外壁用パネルB種による	○ 100	○ C種 (パネル緩い)	外壁用パネルC種による	・ 120	・ D種 (パネル緩い)	表 8.4.4	・ 150	・ E種 (パネル緩い)	表 8.4.4	・ 屋根用パネル	※ 「標準」 (8.4.5) による		○ 床用パネル	○ 100	※ 「標準」 (8.4.5) による		・ 外壁用ライトパネル
施工箇所	厚さ (mm)	種 別 (取付け工法)	備 考																																								
○ 外壁用パネル	・ 100	○ A種 (パネル緩いスライド)																																									
	・ 120	○ B種 (パネル緩いボルト止め)																																									
	・ 125	・ C種 (パネル緩いロッキング)																																									
	・ 150	・ 横使いアンカー工法	製造会社の仕様による																																								
○ 間仕切用パネル	・ 75	・ B種 (パネル横使い)	外壁用パネルB種による																																								
	○ 100	○ C種 (パネル緩い)	外壁用パネルC種による																																								
	・ 120	・ D種 (パネル緩い)	表 8.4.4																																								
	・ 150	・ E種 (パネル緩い)	表 8.4.4																																								
	・ 屋根用パネル	※ 「標準」 (8.4.5) による																																									
○ 床用パネル	○ 100	※ 「標準」 (8.4.5) による																																									
	・ 外壁用ライトパネル	・ 50	製造会社の仕様による																																								
b	パネルの化粧加工、長さ、耐火性能等は図示による。																																										
c	耐火構造および防火区画における取付け金物は、ロックワールの耐火被覆を行い所定の耐火性能を確保する。																																										

出成形セメント板 (8.5.2) (表8.5.1) (表8.5.2) (表8.5.3)

ロックワール充填		充填品	非充填品	
施工箇所	表面形状	記号	厚さ (mm)	パネル工法
・ 外壁	※ フラットパネル	F	・ 35 ・ 50 ・ 60 ・ 75 ・ 100	・ A 種 (縦使いロック工) ・ B 種 (横使いスライド)
	・ デザインパネル (図示)	D	・ 50 ・ 60	
	・ タルベースパネル	T	・ 60	
	・ 間仕切	※ フラットパネル	F	・ 35 ・ 50 ・ 60
・ デザインパネル (図示)		D	・ 50 ・ 60	
・ タルベースパネル		T	・ 60	

b パネルの長さ、耐火性能等は図示による。

c 耐火構造および防火区画における取付け金物は、ロックワールの耐火保護を行い所定の耐火性能を確保する。

ALC・押出成形
セメント板の耐風圧
・耐震性能基準

(8.2.2)

a 変形に対する性能

1) 内面性能 (追従性)

① パネルおよび取付け金物は、下記の層間変位量に対して右欄の程度を超えない。

層間変位量	程 度	備 考
階高の $1/300$ かつ 12mm 以内	何ら損傷なく、肉付き良いを旨の機能性が確保されている（無損傷）。	
階高の $1/150$ かつ 25mm 以内	パネル、取付け金物に損傷はないが、シーリングの補修が必要な程度の損傷にたとめる。	

② 建物本体の最大層間変形角 $(\cdot / 100 \cdot / 125 \cdot / 150 \cdot / \cdot)$ による変形に対しては、パネルの破壊、脱落を発生させない。

2) 外面性能

① パネルの最大たわみは、支点間面の $1/100$ 以下、かつ 20mm 以内とし、有害な亀裂の発生及びたわみの残存等がない。

ただし、下記の条件による。

- ・ 地震力：震度 水平方向 1.0
- ・ 設計用風圧力（建築基準法）

② 建物本体の変形に追従するパネルの外面変形に対しては、1) 内面性能 ① の階高を支点間距離と読み替えて各層間変位角に対して、程度欄の内容を超えない。

b 強度に対する性能

パネルおよび取付け金物は、風圧力・地震力等による応力に対して、許容値以下とする。

ただし、地震力は下記による。

震度 水平方向 (K_h) ※ 1.0
垂直方向 (K_v) ※ $1.0 \cdot 0.5$

c 耐風圧性能

設計用の風圧は、風洞実験等を行なった場合にはその結果により算定する。行っていない場合は、基準法施工等、建設省告示により算定した値を用いる。高さ 13m 以下の建物の場合は、最小風圧力を $\pm 1200\text{Pa}$ 以上とする事。

第9章 防水工事

種 別		標準仕様書	保護層（仕上材）	施工箇所
屋 外	保 護 防 水	密着 ・ A-1	・ コンクリート ・	
		・ A-2	・ コンクリート ・	
		密着 ・ A I-1	・ コンクリート	
		断熱 ・ A I-2	・ コンクリート	
		絶縁 ・ B-1	・ コンクリート	
		・ B-2	・ コンクリート	
	絶縁 ○ B I-1	○ コンクリート	陸屋根（室外機置場）	
	断熱 ・ B I-2	・ コンクリート		
	露 出 防 水	密着 ・ E-1		
・ E-2				
絶縁 ○ D-1			陸屋根	
・ D-2				
屋 内 保 護 防 水	密着 ・ E-1	・ コンクリート		
	・ E-2	・ コンクリート		

アスファルト防水の仕様は以下による。

アスファルトの種類 ※ 3種（一般地域） ○ 4種（寒冷地域）
押入金物 ※ アルミニウム製 ステンレス製
断熱材（保護防水） 材質 ※ 押出法ポリスチレンフォーム 保温板 3種 b （9.2.2）
スキム層付 （特定フロシを含まないもの） （9.2.2）
（9.2.2）
厚さ（mm）※ 35 ・ 30
断熱材（露出防水） 材質 ※ 硬質ウレタンフォーム 保温板 2種
○ 図示による
厚さ（mm）※ 30 ・
絶縁用シート ・ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上（保護防水）
※ フラットヤーンクロス70 g/m²程度（断熱工法）
別気装置（露出防水の場合）
※ 放ける（材質：メーカー仕様 数量：80 m²/㎡程度） （9.2.2）
※ 設けない
伸縮調整 目地材 ○ 成型伸縮目地材（※ 付着層タイプ・アンカータイプ）
目地材（mm）・ 20 ※ 25（一般部） ※ 30（外周部）
防水立上り部の保護材
・ 押出成形セメント板
○ アスファルト増張り砂付ルーフィング （9.2.2）

	(9. 3. 2)
2 改質アスファルトシート防水	(表9. 3. 1) トーチ工法

施工箇所	種別	下層用	上層用	増強用シート	備 考
		改質アスファルトシート	改質アスファルトシート		
押え金物 脱気装置	・ AS-1	非露出複層防水用R種 厚さ +203B 2.5mm ・	露出複層防水用R種 厚さ +203B 3.0mm ・	非露出複層防水用R種 厚さ +203B 2.5mm ・	
	・ AS-2	露出単層防水用 R種 厚さ +203B 4.0mm ・			

施工箇所		種別	厚さ (mm)	使用区分
3 合成高分子系ルー ファングシート防水	・ S-F1 (加硫ゴム系) 接着工法		※ 1.2	・ 歩行 ・ 非歩行
	・ S-F2 (塩化ビニル樹脂系) 接着工法		※ 2.0	・ 歩行 ・ 非歩行
	・ S-M1 (加硫ゴム系) 絶縁工法		※ 1.5	・ 歩行 ・ 非歩行
	・ S-M2 (塩化ビニル樹脂系)		※ 1.5	・ 歩行 ・ 非歩行
	・ S-F3 (熱可塑性エラストマー系) 接着工法		※ 1.2	・ 歩行 ・ 非歩行

※ 発泡ポリエチレンシート(2.0mm) ・ 防水剤塗違者の仕様による
絶縁工法の場合、脱気装置は数量 6 0 m²/ヶ所程度、材種はメーカー仕様により監理者の承認
を受けて施工する。
S-F1・S-M2の仕上塗料塗り
・ シルバー ・ カラー

施工箇所		種別	保護、仕上	備考
設備基礎	○	X-1 (ウレタン2面塗) 通気緩衝シート	仕上塗料 ・ シルバー ○カラー	
庇	○	X-2 (ウレタン3面塗) 補強布	仕上塗料 ・ シルバー ○カラー	
地下外壁	・	Y-1 (ゴムアスファルト系)	※ 保護緩衝材	
屋内	・	Y-2 (ゴムアスファルト系)	・ 保護コンクリート ・ 保護モルタル	
			・	

X-1 の場合、脱気装置は数量 6 0 m²/ヶ所程度、材質はメーカー仕様により監理者の承認を受けて施工する。

5 セメント系保護防水

(図 9.1.2) (図 9.1.3)

・ 防水剤はJISによる試験に合格またはJASSの規格に適合したものとし、防水剤製造者の仕様に基づき施工する。

施工箇所	種 別	備 考
	・ セメント防水	
	・ ケイ質系塗布防水 (浸透性塗布防水)	
	・ 水和凝固形塗布防水	

6 ステンレスシート
防水

・ この項は「継仕」(図 9.1.2)、(図 9.1.3) を適用する。

(J A S S 8.2)

施工箇所	材質	厚さ (mm)	表面処理	備 考
	※ SUS304 ・ SUS316 ・	※ 0.4 ・ ・	・ N 2 D (ダル) ・ 焼付塗装	

風環境 (地域) ・ 一般 ・ 強風 (台風の強襲頻度の高い地域)

腐食条件 (地域) ・ 弱 (一般) ・ 強 (海岸地域など腐食因子の大きい地域)

シーム着接後の仕上げ部の処理

・ ジョイントキャップ ・ 両はぎ折り ・ 片はぎ折り

モルタル防水	<p>一般施工</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 請負者は防水専門工事業者とともに、下地処理を含め責任施工を行う。 2) 防水層は、そのメーカーの責任ある仕様で施工する。 <p>材料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 防水剤は、JIS A 1404（建築用セメント防水剤の試験方法）による公称機関の試験所での試験成績表を添付する。 2) セメント・砂・水などは、15章（左官工事）による。 <p>下地</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) モルタル防水の下地となる鉄筋コンクリートは、密実なコンクリートを打設する。 2) コンクリート壁面では、モルタル防水箇所の型枠強硬剤コーンを使用する。 3) コンクリートスラブ面は不陸のないように木ゴテ押えとする。 4) ルーフドレインはコンクリート打込みとする。 <p>工法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 防水層施工の前に以下の下地処理を行う。 <ol style="list-style-type: none"> ① コーン部 <ol style="list-style-type: none"> イ. 樹根エマルジョンやゴムラテックスを混入したポリマーセメントモルタルで外壁面まで埋める。 ロ. 次にコーン周囲径 100mm 以上の範囲に高分子系セメント防水剤を塗布する。 ② 打継ぎ目地は、下記イ・ロ・ハの順序で処理する。 <ol style="list-style-type: none"> イ. 不良部分を取り除き、未地部に高分子系セメント防水剤を塗布する。 樹根エマルジョンやゴムラテックスを混入したポリマーセメントモルタルで外壁面まで埋める。 ハ. 次に幅 100mm 以上の範囲に高分子系セメント防水剤を塗布する。 ③ ひび割れのある箇所 <ol style="list-style-type: none"> イ. ひび割れの幅が 0.3mm 未満の場合は、合成ゴム系防水剤を幅 50mm でパテかきする。 ロ. ひび割れの幅が 0.3mm 以上の場合は、ひび割れ部にエポキシ樹脂注入を行い、外壁面には幅 50mm で合成ゴム系防水剤をパテかきする。 ④ じゃんかなどの不良箇所 <ol style="list-style-type: none"> イ. じゃんかなどが内部まで入り込まず、表面で留まっている場合は、粗骨材表面のセメントペーストをワイヤブラシ等で十分に取り除き、高分子セメント防水剤を塗布した後、ポリマーセメントモルタルで外壁まで埋める。 ロ. じゃんかなどが内部まで入り込んでいる場合は、監理者と協議して豆板部分をはずり取り、無収縮モルタルなどを充填した後、修繕した周辺に高分子系セメント防水剤を塗布する。 2) 防水層の施工に先立ち、コンクリートに十分な水濡しを行う。 3) バルコニー一面など約 3m 内外で防水層まで達する収縮目地を設けて、JIS A 5758（建築用シーリング）に適合するシーリングを行う。 4) 防水層の施工完了後 3 日間は湿潤養生を行う。 <p>施工箇所：即立上り部、建具取合部</p>
--------	--

⑨ その他の防水	施工箇所	種別等	備 考
	屋根 (ZR)	ハイタフシート	
	2F配管バルコ、消火水槽	バラテックス B-2工法	
	厨房除害槽 (C棟) 陸屋根	シート防水 ネオ・ルーフィングRV-101工法	

製造所の仕様による。

竣工図

竣工図

第 1 6 章 建具工事																																																																																																																				
① 基本要項品質	○ 性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う (16.1.2) ・ 試験の種類 ・ 耐風圧 ・ 耐震 ・ 水密 ・ 気密 ・ 遮音 ○ 試験体の製作 ※ 製作しない ・ 製作する (寸法: ※ 実物大 ・)																																																																																																																			
② 見本の製作等	○ 建具見本の製作 ※ 製作しない ・ 製作する (寸法: ※ 実物大 ・) (16.1.4)																																																																																																																			
③ アルミニウム建具	a 外部に面する建具の性能 (16.2.2) (表16.2.1) <table><tr><th>種 類</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>遮音性</th><th>断熱性</th><th>持込み (mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ S-4 (2000Pa)</td><td>※ A-3</td><td>※ W-4</td><td></td><td></td><td>※ 70</td><td></td></tr><tr><td>・ S-5 (2400Pa)</td><td>※ A-3</td><td>※ W-4</td><td></td><td></td><td>※ 70</td><td></td></tr><tr><td>・ S-6 (2800Pa)</td><td>※ A-4</td><td>※ W-5</td><td></td><td></td><td>※ 100</td><td></td></tr><tr><td>・ S-7 (3600Pa)</td><td>※ A-4</td><td>※ W-5</td><td></td><td></td><td>※ 100</td><td></td></tr><tr><td>○ 2400 Pa</td><td>A-4</td><td>W-5</td><td>T-2</td><td>H-1</td><td>70</td><td>外部サッシ</td></tr><tr><td>・ Pa</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ Pa</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ Pa</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>気密性能 A-3 (8等級線) A-4 (2等級線) 水密性能 W-4 (350Pa) W-5 (500Pa) その他 (Pa) 遮音性能 T-1 (25等級線) T-2 (30等級線) T-3 (35等級線) T-4 (40等級線) 断熱性能 H-1 (0.215) H-2 (0.246) H-3 (0.287) H-4 (0.344) H-5 (0.430) 注) () 内は熱貫流抵抗値 (m²・K/W) を示す (常温乾燥形の塗装は特記による)</p> b 表面処理 (表14.2.1) <table><tr><th>種 類</th><th>表面処理</th><th>被覆厚さ (μm)</th><th>塗膜厚さ (μm)</th></tr><tr><td>A-1 種</td><td>無着色陽極酸化被膜 (シルバー被膜)</td><td>※ 15以上</td><td>—</td></tr><tr><td>A-2 種</td><td>着色陽極酸化被膜 (2次電解着色被膜: カラー)</td><td>※ 9以上</td><td>—</td></tr><tr><td>B-1 種</td><td>無着色陽極酸化塗装被覆被膜 (シルバー被膜+クリアー塗装)</td><td>※ 9以上 ・ 15以上 (臨海地域 等)</td><td>※ 7以上</td></tr><tr><td>B-2 種</td><td>着色陽極酸化塗装被覆被膜 (・ 2次電解着色被膜+クリアー塗装) (・ 3次電解着色被膜+クリアー塗装)</td><td>※ 9以上</td><td>※ 7以上</td></tr><tr><td>C-1 種 (内装)</td><td>無着色陽極酸化被膜</td><td>※ 6以上</td><td>—</td></tr><tr><td>C-2 種 (内装)</td><td>着色陽極酸化被膜</td><td>※ 6以上</td><td>—</td></tr><tr><td>D 種</td><td>化成被膜の上に塗装 (着色塗料の種類は下記による)</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> <p>(臨海地域とは海岸線から2km以内の地域をいう)</p> <table><tr><th>種 類</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 高温硬化型 (熱可塑性) フッ素樹脂系塗料</td><td rowspan="3">高耐久性塗料</td></tr><tr><td>・ 常温硬化型 (熱硬化型: 中温、低温) フッ素樹脂系塗料</td></tr><tr><td>・ 常温硬化型 (熱硬化型: 中温、低温) アクリルシリコン樹脂系塗料</td></tr><tr><td>・ 焼付型ポリウレタン樹脂系塗料</td><td rowspan="3">一般環境塗料</td></tr><tr><td>・ 常温硬化型 (熱硬化型: 中温、低温) ポリウレタン樹脂系塗料</td></tr><tr><td>・ 熱硬化型 (中温) ポリエステル樹脂系塗料</td></tr><tr><td>・ 熱硬化型 (中温) アクリル樹脂系塗料</td><td></td></tr></table>									種 類	気密性	水密性	遮音性	断熱性	持込み (mm)	施工箇所	・ S-4 (2000Pa)	※ A-3	※ W-4			※ 70		・ S-5 (2400Pa)	※ A-3	※ W-4			※ 70		・ S-6 (2800Pa)	※ A-4	※ W-5			※ 100		・ S-7 (3600Pa)	※ A-4	※ W-5			※ 100		○ 2400 Pa	A-4	W-5	T-2	H-1	70	外部サッシ	・ Pa							・ Pa							・ Pa							種 類	表面処理	被覆厚さ (μm)	塗膜厚さ (μm)	A-1 種	無着色陽極酸化被膜 (シルバー被膜)	※ 15以上	—	A-2 種	着色陽極酸化被膜 (2次電解着色被膜: カラー)	※ 9以上	—	B-1 種	無着色陽極酸化塗装被覆被膜 (シルバー被膜+クリアー塗装)	※ 9以上 ・ 15以上 (臨海地域 等)	※ 7以上	B-2 種	着色陽極酸化塗装被覆被膜 (・ 2次電解着色被膜+クリアー塗装) (・ 3次電解着色被膜+クリアー塗装)	※ 9以上	※ 7以上	C-1 種 (内装)	無着色陽極酸化被膜	※ 6以上	—	C-2 種 (内装)	着色陽極酸化被膜	※ 6以上	—	D 種	化成被膜の上に塗装 (着色塗料の種類は下記による)	・	・	種 類	備 考	・ 高温硬化型 (熱可塑性) フッ素樹脂系塗料	高耐久性塗料	・ 常温硬化型 (熱硬化型: 中温、低温) フッ素樹脂系塗料	・ 常温硬化型 (熱硬化型: 中温、低温) アクリルシリコン樹脂系塗料	・ 焼付型ポリウレタン樹脂系塗料	一般環境塗料	・ 常温硬化型 (熱硬化型: 中温、低温) ポリウレタン樹脂系塗料	・ 熱硬化型 (中温) ポリエステル樹脂系塗料	・ 熱硬化型 (中温) アクリル樹脂系塗料	
種 類	気密性	水密性	遮音性	断熱性	持込み (mm)	施工箇所																																																																																																														
・ S-4 (2000Pa)	※ A-3	※ W-4			※ 70																																																																																																															
・ S-5 (2400Pa)	※ A-3	※ W-4			※ 70																																																																																																															
・ S-6 (2800Pa)	※ A-4	※ W-5			※ 100																																																																																																															
・ S-7 (3600Pa)	※ A-4	※ W-5			※ 100																																																																																																															
○ 2400 Pa	A-4	W-5	T-2	H-1	70	外部サッシ																																																																																																														
・ Pa																																																																																																																				
・ Pa																																																																																																																				
・ Pa																																																																																																																				
種 類	表面処理	被覆厚さ (μm)	塗膜厚さ (μm)																																																																																																																	
A-1 種	無着色陽極酸化被膜 (シルバー被膜)	※ 15以上	—																																																																																																																	
A-2 種	着色陽極酸化被膜 (2次電解着色被膜: カラー)	※ 9以上	—																																																																																																																	
B-1 種	無着色陽極酸化塗装被覆被膜 (シルバー被膜+クリアー塗装)	※ 9以上 ・ 15以上 (臨海地域 等)	※ 7以上																																																																																																																	
B-2 種	着色陽極酸化塗装被覆被膜 (・ 2次電解着色被膜+クリアー塗装) (・ 3次電解着色被膜+クリアー塗装)	※ 9以上	※ 7以上																																																																																																																	
C-1 種 (内装)	無着色陽極酸化被膜	※ 6以上	—																																																																																																																	
C-2 種 (内装)	着色陽極酸化被膜	※ 6以上	—																																																																																																																	
D 種	化成被膜の上に塗装 (着色塗料の種類は下記による)	・	・																																																																																																																	
種 類	備 考																																																																																																																			
・ 高温硬化型 (熱可塑性) フッ素樹脂系塗料	高耐久性塗料																																																																																																																			
・ 常温硬化型 (熱硬化型: 中温、低温) フッ素樹脂系塗料																																																																																																																				
・ 常温硬化型 (熱硬化型: 中温、低温) アクリルシリコン樹脂系塗料																																																																																																																				
・ 焼付型ポリウレタン樹脂系塗料	一般環境塗料																																																																																																																			
・ 常温硬化型 (熱硬化型: 中温、低温) ポリウレタン樹脂系塗料																																																																																																																				
・ 熱硬化型 (中温) ポリエステル樹脂系塗料																																																																																																																				
・ 熱硬化型 (中温) アクリル樹脂系塗料																																																																																																																				
④ 網 戸	(16.2.3 (a)) <p>a 防虫網 (網目 16～18メッシュ) 網の種類 ※ ステンレス製 (SUS 316) ○ 合成樹脂製 形式 ○ 外部可動式 ○ 内部可動式 (ブリーツ) ・ 固定式 外部可動式の網戸は脱落防止ストッパー付とする。</p> b 防鳥対策 外部に面するガラリには、ダクト接続の有無に関わらず防鳥網 (網目 SUS304 φ1.5×15mmメッシュ) を設ける。 清掃用の点検口をチャッパ等にて用意する。																																																																																																																			
⑤ 鋼製建具	(16.4.3) (表16.3.2) <p>a 外部に面する建具 (開き戸・引戸に限る) の性能等級は、特記を除きアルミニウム製建具の等級に倣う。</p> b 室内の防音ドアの気密性は、下記による。 完全エアタイト (PAT) : JISによる気密等級線 A-4 を上回らない エアタイト (AT) : JISによる気密等級線 A-3 を上回らない セミエアタイト (SAT) : JISによる気密等級線 A-2 を上回らないc 出入口建具の面内変形追従性能は、特記を除き下記による。ただしは建具高さとする。 居室、階段室、防炎倉庫等 D-3 (最大の面内変形寸法 1/120 ×h) 以上 その他の非居室 D-2 (最大の面内変形寸法 1/150 ×h) 以上d 建具の鋼板類は、特記を除き下記による。 外部 溶融亜鉛めっき鋼板による表面処理亜鉛めっき鋼板とし、めっきの付着量はZ12とする。 化成処理の種類はリン酸処理とするが、鋼材の切口および溶接部はジncリッチペイントで修飾し、エッチングプライマリー塗の上塩カルシウム錆止めペイント1回塗りとする。 屋内 「様仕」 (16.4.3 (a) (1)) による。e 鋼板類の厚さは、特記を除き下記による。 出入口枠 (mm) 2.3 (外部、防火戸) 1.6 (一般部分) 巻留 (mm) 1.5 (16.3.3 (b)) フラッシュ板 (mm) 1.6 カ骨・中骨 (mm) 2.3f 屋外に直接出入する建具は、以下による。 下枠 水切り金物 (特記を除きステンレス製・同材の小口蓋ぎ付) を取付ける。 上枠 建具上部に小庇などが付かない場合は、上枠に水切り金物 (建具と同材 W=25程度 同材の小口蓋ぎ付) を取付ける。 丁寧取付けの切欠き部周りに不定形シーリング材を施す。																																																																																																																			
⑥ 鋼製軽量建具	品質規格 ※ 公共建築工事標準仕様書による (16.4.2) ・ 製造標準仕様による ※ 製造時の標準仕様による。 特記仕様 () ・ 外部に面する建具の性能等級はアルミニウム製建具の等級に倣う。 ・ ステンレス鋼板 ※ SUS304 ・ SUS316 (16.5.3) ・ 表面仕上げ ※ H1仕上げ ・ 鏡面仕上げ ・ パイレーション仕上 ・ 自然発色 (カラーステンレス) ・ 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16.5.4) ・ フロントドアなどで框形式の場合は、モヘア付とする。 (16.5.5)																																																																																																																			
⑦ 鋼製軽量自閉装置付引き戸	(16.6.3) (表16.6.3)																																																																																																																			
8 ステンレス製建具	(16.6.3) (表16.6.3)																																																																																																																			
⑧ 自動ドア開閉装置	(16.6.3) (表16.6.3)																																																																																																																			
⑨ 木製建具	(16.6.2) <p>○ フラッシュ戸の材料: 図示による (16.6.2) ・ 扉戸の縦桎: 鐵板: ○ ふすまの上張り ※ 新島の子 ・ 鳥の子 ・ ビニル紙 (表16.6.3) ○ ふすま縁 ※ 塗装 ・ 白木縁 (表16.6.3) ・ 障子 かまち棧: 紙質: 引手: (表16.6.4) ※ フラッシュ戸および扉戸またはそれらを構成する建材は、F☆☆☆☆ 等級以上のものを使用する。</p>																																																																																																																			
⑩ 建具用金物	(16.7.2) (表16.7.1) <p>a 金物の種類及び見え掛り部の材質は、特記を除き「様仕」表16.7.1による。</p> b 丁寧取付け枚数、握り玉等のバックセット及びシンダーサイドは、特記を除き以下による。 丁寧 建具の高さ1.8m以上 125mm×3枚 低し、フラッシュ合板建具の場合は、125mm×2枚 高さ1.8m未満 125mm×2枚 バックセット 握り玉の場合 60mm以上 レバー・ハンドルの場合 50mm以上 シンダーサイド 外側シンダー、内側サムターンとするc 建物出入口建具の施錠の防犯性能 (指定建物錠の防犯性能表示制度) <table><tr><th>指定建物錠</th><th>性能項目</th><th>性能表示</th></tr><tr><td rowspan="4">シンダー錠</td><td>耐ピッキング性能</td><td>・ 5分未満 ※ 5分以上 ・ 10分以上</td></tr><tr><td>耐鍵穴壊し性能</td><td>・ 5分未満 ※ 5分以上 ・ 10分以上</td></tr><tr><td>耐サムターン回し性能</td><td>・ なし ※ あり</td></tr><tr><td>耐カム送り開錠性能</td><td>・ なし ※ あり</td></tr><tr><td rowspan="3">シンダー</td><td>耐こじ破り性能</td><td>・ なし ※ あり</td></tr><tr><td>耐ピッキング性能</td><td>・ 5分未満 ※ 5分以上 ・ 10分以上</td></tr><tr><td>耐鍵穴壊し性能</td><td>・ 5分未満 ※ 5分以上 ・ 10分以上</td></tr><tr><td>サムターン</td><td>耐サムターン回し性能</td><td>・ なし ※ あり</td></tr></table> <p>注) シンダー錠及びシンダーのかぎ本数は、各3本以上とし、監理者の支持による。</p> d 建具金物の種類 (16.13.2) <table><tr><th>種 別</th><th>品質・規格・認定及び評定品</th><th>備考</th></tr><tr><td>○ シリダ箱錠</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ シリダ本締まり錠</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ ドアクローザー</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ 押錠錠</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ ビボットヒンジ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ ヒンジクローザー</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ フロアヒンジ</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>									指定建物錠	性能項目	性能表示	シンダー錠	耐ピッキング性能	・ 5分未満 ※ 5分以上 ・ 10分以上	耐鍵穴壊し性能	・ 5分未満 ※ 5分以上 ・ 10分以上	耐サムターン回し性能	・ なし ※ あり	耐カム送り開錠性能	・ なし ※ あり	シンダー	耐こじ破り性能	・ なし ※ あり	耐ピッキング性能	・ 5分未満 ※ 5分以上 ・ 10分以上	耐鍵穴壊し性能	・ 5分未満 ※ 5分以上 ・ 10分以上	サムターン	耐サムターン回し性能	・ なし ※ あり	種 別	品質・規格・認定及び評定品	備考	○ シリダ箱錠			○ シリダ本締まり錠			○ ドアクローザー			○ 押錠錠			○ ビボットヒンジ			○ ヒンジクローザー			○ フロアヒンジ																																																															
指定建物錠	性能項目	性能表示																																																																																																																		
シンダー錠	耐ピッキング性能	・ 5分未満 ※ 5分以上 ・ 10分以上																																																																																																																		
	耐鍵穴壊し性能	・ 5分未満 ※ 5分以上 ・ 10分以上																																																																																																																		
	耐サムターン回し性能	・ なし ※ あり																																																																																																																		
	耐カム送り開錠性能	・ なし ※ あり																																																																																																																		
シンダー	耐こじ破り性能	・ なし ※ あり																																																																																																																		
	耐ピッキング性能	・ 5分未満 ※ 5分以上 ・ 10分以上																																																																																																																		
	耐鍵穴壊し性能	・ 5分未満 ※ 5分以上 ・ 10分以上																																																																																																																		
サムターン	耐サムターン回し性能	・ なし ※ あり																																																																																																																		
種 別	品質・規格・認定及び評定品	備考																																																																																																																		
○ シリダ箱錠																																																																																																																				
○ シリダ本締まり錠																																																																																																																				
○ ドアクローザー																																																																																																																				
○ 押錠錠																																																																																																																				
○ ビボットヒンジ																																																																																																																				
○ ヒンジクローザー																																																																																																																				
○ フロアヒンジ																																																																																																																				
⑪ 特定防火設備 (旧甲種防火戸)	(16.13.2)																																																																																																																			
⑫ ガラス	(16.13.2) <p>a ガラスの種類・仕様 (16.13.2)<table><tr><th>種 別</th><th>種類、仕様等</th></tr><tr><td>○ フロートガラス</td><td>○ 透明</td></tr><tr><td>・ 網入り、網入板ガラス</td><td>・ 平板 ・ 磨板 ・ 熱線吸収 ・ 熱線反射 ・ 遮形</td></tr><tr><td>・ 熱線吸収板ガラス</td><td>・ グレー ・ ブルー ・ ブロンズ ・ グリーン</td></tr><tr><td>・ 熱線反射板ガラス</td><td>・ シルバー系 ・ ゴールド系</td></tr><tr><td>・ 高性能熱線反射板ガラス</td><td>・ シルバー系 ・ ゴールド系 ・ ブロンズ系 ・ ブルー系 ・ グリーン</td></tr><tr><td>・ 合わせガラス</td><td>・ ガラスの種類: ・ 性能:</td></tr><tr><td>○ 複層ガラス</td><td>○ ガラスの種類: 図示 ・ 性能:</td></tr><tr><td>・ 強化ガラス</td><td>・ フロート ・ 型板</td></tr><tr><td>・ 色強化ガラス</td><td>・ フロート ・ 熱線吸収 ・ 熱線反射</td></tr><tr><td>・ 色焼付ガラス</td><td>・</td></tr><tr><td>○ 特殊ガラス</td><td>・ 電磁遮蔽ガラス ○ 耐熱ガラス ・ X線遮蔽ガラス ・ UVカットガラス</td></tr><tr><td>・ ガラスブロック (JIS A 5212)</td><td>寸法 (mm) 色調 柄 防災認定</td></tr><tr><td>・</td><td>・ ※ クリア ・ 熱線反射 ※ 無し</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・ ・ 乳白 ・ カラー: ※ 有り</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 飛散防止ガラス</td><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td><td></td></tr></table></p>									種 別	種類、仕様等	○ フロートガラス	○ 透明	・ 網入り、網入板ガラス	・ 平板 ・ 磨板 ・ 熱線吸収 ・ 熱線反射 ・ 遮形	・ 熱線吸収板ガラス	・ グレー ・ ブルー ・ ブロンズ ・ グリーン	・ 熱線反射板ガラス	・ シルバー系 ・ ゴールド系	・ 高性能熱線反射板ガラス	・ シルバー系 ・ ゴールド系 ・ ブロンズ系 ・ ブルー系 ・ グリーン	・ 合わせガラス	・ ガラスの種類: ・ 性能:	○ 複層ガラス	○ ガラスの種類: 図示 ・ 性能:	・ 強化ガラス	・ フロート ・ 型板	・ 色強化ガラス	・ フロート ・ 熱線吸収 ・ 熱線反射	・ 色焼付ガラス	・	○ 特殊ガラス	・ 電磁遮蔽ガラス ○ 耐熱ガラス ・ X線遮蔽ガラス ・ UVカットガラス	・ ガラスブロック (JIS A 5212)	寸法 (mm) 色調 柄 防災認定	・	・ ※ クリア ・ 熱線反射 ※ 無し			・	・ ・ 乳白 ・ カラー: ※ 有り			・ 飛散防止ガラス	・			・	・			・	・																																																															
種 別	種類、仕様等																																																																																																																			
○ フロートガラス	○ 透明																																																																																																																			
・ 網入り、網入板ガラス	・ 平板 ・ 磨板 ・ 熱線吸収 ・ 熱線反射 ・ 遮形																																																																																																																			
・ 熱線吸収板ガラス	・ グレー ・ ブルー ・ ブロンズ ・ グリーン																																																																																																																			
・ 熱線反射板ガラス	・ シルバー系 ・ ゴールド系																																																																																																																			
・ 高性能熱線反射板ガラス	・ シルバー系 ・ ゴールド系 ・ ブロンズ系 ・ ブルー系 ・ グリーン																																																																																																																			
・ 合わせガラス	・ ガラスの種類: ・ 性能:																																																																																																																			
○ 複層ガラス	○ ガラスの種類: 図示 ・ 性能:																																																																																																																			
・ 強化ガラス	・ フロート ・ 型板																																																																																																																			
・ 色強化ガラス	・ フロート ・ 熱線吸収 ・ 熱線反射																																																																																																																			
・ 色焼付ガラス	・																																																																																																																			
○ 特殊ガラス	・ 電磁遮蔽ガラス ○ 耐熱ガラス ・ X線遮蔽ガラス ・ UVカットガラス																																																																																																																			
・ ガラスブロック (JIS A 5212)	寸法 (mm) 色調 柄 防災認定																																																																																																																			
・	・ ※ クリア ・ 熱線反射 ※ 無し																																																																																																																			
・	・ ・ 乳白 ・ カラー: ※ 有り																																																																																																																			
・ 飛散防止ガラス	・																																																																																																																			
・	・																																																																																																																			
・	・																																																																																																																			
⑬ ガラス留め材	(16.13.1) (16.13.2 (b)) <p>a 留め材の材質 (表16.13.1) (16.13.2 (b))<table><tr><th>建具の種類</th><th>材 質</th></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>※ シーリング材 ○ ガスケット (F1 X部はシーリング材)</td></tr><tr><td>鋼製</td><td>※ シーリング材 ・ ガスケット</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>※ シーリング材 ・ ガスケット</td></tr><tr><td>木製</td><td>※ パテ (木製用) ・</td></tr></table>b 留め材の種類 ※ シーリング材の種類は表9.6.1により、バックアップ材は下記による。 ・ ポリエチレン独立気泡発泡体 JIS K 6380 (工業用ゴムパッキン材料) のBⅡ 410、BⅡ 610 ・ グレージングガスケット (グレージングチャンネル・グレージングビード) 類 ※ 軟質塩化ビニル製 JIS A 5756 (建築用ガスケット) ・ 合成ゴム製 JIS A 5756 (建築用ガスケット)</p> c ジッパーガスケットを使う場合は、下記による。 材質 ※ クロロブレンゴム ・ EPTゴム (寒冷地) 形状 ・ Y型 ・ H型 寸法・色は図示。 原則としてジッパー側を厘内とする。d 防火戸のガラス留め材等は防火設備の規定またはその認定品による。									建具の種類	材 質	アルミニウム製	※ シーリング材 ○ ガスケット (F1 X部はシーリング材)	鋼製	※ シーリング材 ・ ガスケット	ステンレス製	※ シーリング材 ・ ガスケット	木製	※ パテ (木製用) ・																																																																																																	
建具の種類	材 質																																																																																																																			
アルミニウム製	※ シーリング材 ○ ガスケット (F1 X部はシーリング材)																																																																																																																			
鋼製	※ シーリング材 ・ ガスケット																																																																																																																			
ステンレス製	※ シーリング材 ・ ガスケット																																																																																																																			
木製	※ パテ (木製用) ・																																																																																																																			
15 ガラス用フィルム	a フィルム張りの仕様 <table><tr><th>名 称</th><th>種 類</th><th>張り面</th><th>性能等</th></tr><tr><td>・ 日射遮へいガラス</td><td>JIS A 5759 第1種</td><td>※ 内張り ・ 外張り</td><td></td></tr><tr><td>飛散防止フィルム</td><td>JIS A 5759 第2種</td><td>※ 内張り ・ 外張り</td><td>飛散防止率 D1</td></tr><tr><td>○ ガラス飛散防止フィルム</td><td>JIS A 5759 第2種</td><td>※ 内張り ・ 外張り</td><td>飛散防止率 D1</td></tr><tr><td>・ 日射遮へいフィルム</td><td>JIS A 5759 第3種</td><td>※ 内張り ・ 外張り</td><td></td></tr><tr><td>・ 防虫フィルム</td><td></td><td>※ 内張り</td><td></td></tr></table> b 網入りガラスには原則としてフィルムを張ってはならない。 c 強化ガラスの飛散防止フィルム張り ・ 行う ※ 行わない									名 称	種 類	張り面	性能等	・ 日射遮へいガラス	JIS A 5759 第1種	※ 内張り ・ 外張り		飛散防止フィルム	JIS A 5759 第2種	※ 内張り ・ 外張り	飛散防止率 D1	○ ガラス飛散防止フィルム	JIS A 5759 第2種	※ 内張り ・ 外張り	飛散防止率 D1	・ 日射遮へいフィルム	JIS A 5759 第3種	※ 内張り ・ 外張り		・ 防虫フィルム		※ 内張り																																																																																				
名 称	種 類	張り面	性能等																																																																																																																	
・ 日射遮へいガラス	JIS A 5759 第1種	※ 内張り ・ 外張り																																																																																																																		
飛散防止フィルム	JIS A 5759 第2種	※ 内張り ・ 外張り	飛散防止率 D1																																																																																																																	
○ ガラス飛散防止フィルム	JIS A 5759 第2種	※ 内張り ・ 外張り	飛散防止率 D1																																																																																																																	
・ 日射遮へいフィルム	JIS A 5759 第3種	※ 内張り ・ 外張り																																																																																																																		
・ 防虫フィルム		※ 内張り																																																																																																																		
16 大形ガラススクリーン	a 工法は下記により、製造会社の仕様 (ストラクチャルシーラント (SSG工法) 、その他特殊工法に伴う材料など) にもとづき b に規定する性能を満足する施工計画書を作成し、監理者の承認を受ける。 ・ ガラス吊工法 (・ ガラス吊下げ工法 ・ ガラス方立法 ・ 併用工法) ・ SSG工法 ・ DFG工法 ・ MFG工法 ・ チンションマリオン工法b 耐風圧、耐震、水密、気密、耐火、耐温度差、遮音、断熱および耐久性等の性能基準は、第17章 7 性能基準 を準用して適用する。ただし、建物本体の最大層間変位角は下記による。 ・ 1/100 ・ 1/125 ・ 1/150 ・ /c ガラスの種類は、透明フロート板ガラス (JIS R 3202) とする。d シーリング材の種類 ※ 表9.5.1による。 ・ 図示による。																																																																																																																			
⑭ 重量シャッター	(16.11.2) <p>a 形式・性能等 開閉形式 ○ 上部電動式 (手動併用) ○ 手動式 (16.11.2) 外部に面するシャッターは耐風圧性能の安全性を確認し、監理者との協議後に製作図を作成する。 耐風圧性能による区分 ・ 50 ・ 80 ※ 120 スラットの形状 ※ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 (16.11.2) ただし、防護シャッターのスラットは、オーバerrラッピング形とする。</p> b 材質・仕上げ <table><tr><th>名 称</th><th>材 質</th><th>仕 上 げ</th></tr><tr><td>シャッターケース</td><td>・ 鋼製 ※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板</td><td>・ 塗装</td></tr><tr><td>スラット</td><td>・ 鋼製 ・ アルミ ○ ステンレス</td><td>・ 塗装 ○ HL</td></tr><tr><td>ガイドレール</td><td>※ ステンレス ・ 鋼板</td><td>○ HL</td></tr><tr><td>まぐさ</td><td>※ ステンレス ・ 鋼製</td><td>○ HL ・ 塗装</td></tr><tr><td>産板包み板</td><td>○ ステンレス ・ 鋼板</td><td>○ HL ・ 塗装</td></tr><tr><td>開閉ボックス</td><td>○ ステンレス ・ 鋼製</td><td>○ HL ・ 塗装</td></tr><tr><td>グリル</td><td>・ ステンレス ・ アルミ ・ 鋼製</td><td>・ HL ・ 塗装</td></tr></table>									名 称	材 質	仕 上 げ	シャッターケース	・ 鋼製 ※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板	・ 塗装	スラット	・ 鋼製 ・ アルミ ○ ステンレス	・ 塗装 ○ HL	ガイドレール	※ ステンレス ・ 鋼板	○ HL	まぐさ	※ ステンレス ・ 鋼製	○ HL ・ 塗装	産板包み板	○ ステンレス ・ 鋼板	○ HL ・ 塗装	開閉ボックス	○ ステンレス ・ 鋼製	○ HL ・ 塗装	グリル	・ ステンレス ・ アルミ ・ 鋼製	・ HL ・ 塗装																																																																																			
名 称	材 質	仕 上 げ																																																																																																																		
シャッターケース	・ 鋼製 ※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板	・ 塗装																																																																																																																		
スラット	・ 鋼製 ・ アルミ ○ ステンレス	・ 塗装 ○ HL																																																																																																																		
ガイドレール	※ ステンレス ・ 鋼板	○ HL																																																																																																																		
まぐさ	※ ステンレス ・ 鋼製	○ HL ・ 塗装																																																																																																																		
産板包み板	○ ステンレス ・ 鋼板	○ HL ・ 塗装																																																																																																																		
開閉ボックス	○ ステンレス ・ 鋼製	○ HL ・ 塗装																																																																																																																		
グリル	・ ステンレス ・ アルミ ・ 鋼製	・ HL ・ 塗装																																																																																																																		
⑮ 重量シャッター	(16.10.2 (d)) (16.10.2 (f)) <p>c 保護装置 ・ 障害物感知装置 ※ 設ける (16.10.2 (d)) ・ シャッターの2段階降下方式 ※ 採用する ・ 採用しない 適用箇所は、図示による。</p> d 防火・防煙以外のシャッターケース ○ 設ける ・ 設けない (16.10.2 (f))																																																																																																																			
⑯ オーバーヘッドドア	(16.12.2) (16.12.2) (16.12.2) (16.12.2) <p>a 形式・性能等 開閉形式 ※ 上部電動式 (手動併用) ○ 手動式 (16.11.2) 外部に面するシャッターは耐風圧性能の安全性を確認し、監理者との協議後に製作図を作成する。 耐風圧性能による区分 ・ 50 ・ 65 ※ 80 (16.11.2) スラットの形状 ※ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 ガイドレール等 ※ ステンレス製 SUS304 (厚さ1.5mm) ・ 鋼板製 (表16.11.2) ・ アルミニウム製</p> b 材質・仕上げ <table><tr><th>名 称</th><th>材 質</th><th>仕 上 げ</th></tr><tr><td>シャッターケース</td><td>・ 鋼板 ・ ステンレス ○ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板</td><td>・ 塗装</td></tr><tr><td>スラット</td><td>・ 鋼板 ○ ステンレス ・ アルミ</td><td>・ 塗装 ○ HL</td></tr><tr><td>ガイドレール</td><td>○ ステンレス ・ 鋼板 ・ アルミ</td><td>○ HL ・ A-1 ・ A-2 ・ 塗装</td></tr><tr><td>まぐさ</td><td>○ ステンレス ・ 鋼板 ・ アルミ</td><td>○ HL ・ A-1 ・ A-2 ・ 塗装</td></tr><tr><td>産板包み板</td><td>○ ステンレス ・ 鋼板</td><td>○ HL ・ A-1 ・ A-2 ・ 塗装</td></tr></table>									名 称	材 質	仕 上 げ	シャッターケース	・ 鋼板 ・ ステンレス ○ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板	・ 塗装	スラット	・ 鋼板 ○ ステンレス ・ アルミ	・ 塗装 ○ HL	ガイドレール	○ ステンレス ・ 鋼板 ・ アルミ	○ HL ・ A-1 ・ A-2 ・ 塗装	まぐさ	○ ステンレス ・ 鋼板 ・ アルミ	○ HL ・ A-1 ・ A-2 ・ 塗装	産板包み板	○ ステンレス ・ 鋼板	○ HL ・ A-1 ・ A-2 ・ 塗装																																																																																									
名 称	材 質	仕 上 げ																																																																																																																		
シャッターケース	・ 鋼板 ・ ステンレス ○ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板	・ 塗装																																																																																																																		
スラット	・ 鋼板 ○ ステンレス ・ アルミ	・ 塗装 ○ HL																																																																																																																		
ガイドレール	○ ステンレス ・ 鋼板 ・ アルミ	○ HL ・ A-1 ・ A-2 ・ 塗装																																																																																																																		
まぐさ	○ ステンレス ・ 鋼板 ・ アルミ	○ HL ・ A-1 ・ A-2 ・ 塗装																																																																																																																		
産板包み板	○ ステンレス ・ 鋼板	○ HL ・ A-1 ・ A-2 ・ 塗装																																																																																																																		
20 耐震ドア	・ 地震感知自動錠鋼製建具 (形式 ・ 変位寸法 (mm) ・)																																																																																																																			

竣工図

第 1 7 章 カーテンウォール工事

① 一般事項	性能の規定は設計図書によるほか、特記事項のない規定は(社)日本建築学会 JASS 14による。																																
2 総括技術者の専任	請負者は施工に先立ち、該当カーテンウォール工事について技術経験のある総括技術者を定め、関連する専門工事業者・製造者の担当技術者を加え、性能基準・施工の技術検討、品質管理等について総括する。また必要により専門委員会を設けて実施する。																																
③ 施工図・施工計画書	<p>施工図</p> <p>a 施工に先立ち、施工図を作成し監理者の承認を受ける。</p> <p>b 施工図には特に下記の事項を記載する。</p> <p>層間変位追従方式（構造体への取付け部、ユニット間の接合部）、 パネル割付け、ガラス厚と割付け、取付金物配置、部材断面、 プレキャストコンクリートパネルの配筋および埋込み金物、 層間区画部分の耐火被覆、結露水および侵入水の排水経路、 バラベツ窓木の取合い等の必要事項。</p> <p>施工計画書</p> <p>a 施工に先立ち施工計画書を作成し、監理者に提出する。</p> <p>b 施工計画書は特に下記の留意事項について作成する。</p> <p>カーテンウォールの性能書（計算書・試験報告書など）添付 材料の加工方法・接合方法、組立て要領、製品精度 防食処理、摩擦音の防止方法、 仕上の材料・工法、取付け方法・取付け精度 等の必要事項。</p>																																
④ 施工検査	<p>製品検査</p> <p>請負者は工場製作工程の途中において、設計図書・施工図・施工計画書および自主検査基準による検査を行い記録を作成する。製作完成品は完成検査を実施し、検査記録書を監理者に提出する。必要により監理者の検査を受ける。</p> <p>取付け検査</p> <p>請負者は各ユニットの現場取付け完了後、所定の性能基準を満たしていることを確認し、検査記録書を監理者に提出する。必要により監理者が検査に立ち合う。</p>																																
5 実物大模型製作	<p>・ 作成する 目的: 仕様: 製作寸法: 仕様:</p> <p>・ 作成しない</p>																																
6 性能試験	<p>a 性能試験</p> <p>実物供試体による性能試験</p> <p>・ 実施する（供試体の寸法: ）</p> <p>・ 実施しない</p> <p>試験項目 ・ 耐風圧試験 ・ 水密試験 ・ 層間変位追従試験（耐震試験） ・ 仕上がり状態、開閉機構の確認 ・ 組立て方法の確認 ・ その他の試験（ ・ 気密 ・ 遮音 ・ ）</p> <p>b 性能試験を実施する場合は、試験に先立ち試験計画書を作成し監理者の承認を受ける。</p> <p>c 試験の方法はJIS A（日本カーテンウォール実業会）制定のカーテンウォール性能試験基準、JASS 14 実大試験等の解説に準じる。</p>																																
⑦ 性能基準	<p>a 耐風圧・耐震性能</p> <p>1) 変形に対する面内性能（追従性）</p> <p>① 部材（取付け金物を含む）は、下記の層間変位量に対して右欄の程度を超えない。</p> <table><thead><tr><th>層間変位量</th><th>程 度</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>層高の1／300 かつ12mm以内</td><td>何ら損傷なく、両仕舞いを含め機能性が確保されている（無損傷）。</td><td></td></tr><tr><td>層高の1／150 かつ25mm以内</td><td>部材に有害な変形が発生せず、ガラスの破損もないが、 シーリングの補修が必要な程度の損傷にとどめる。</td><td></td></tr></tbody></table> <p>② 構造本体の最大層間変形角（ ・ 1/100 ・ 1/125 ③ 1/150 ・ / ）による 変形に対しては、部材などの破損、脱落を発生させない。</p> <p>2) 変形に対する面外性能</p> <p>① 部材の最大たわみは、支点間距離の1/100以下、かつ20mm以内とし、有害な亀裂の発生及びたわみの残存等がない。 ただし、下記の条件による。</p> <p>③ 地震力・震度 水平方向 1.0 ③ 設計用風圧力（建築基準法）</p> <p>② 建物本体の変形に追従する部材の面外変形に対しては、1) 面内性能 ① の層高を支点間距離と読み替えて各層間変位角に対して、程度欄の内容を超えない。</p> <p>3) 強度に対する性能</p> <p>部材は、風圧力・地震力等による応力に対して、許容値以下とする。 ただし、地震力は下記による。</p> <p>震度 水平方向（K_h） ※ 1.0 垂直方向（K_v） ※ 1.0 ・ 0.5</p> <p>b 水密性能</p> <p>JIS A 1414に規定する降雨条件の下で、下記の風圧力（上・下限±50%変動圧）について、室内側に漏水が起こらないこと。</p> <p>可動部の性能値 平均圧力（Pa） ※ 650 ③ 500 はめ殺し部の性能値 ※ 正圧最大圧力の1/2を平均圧力とする ・</p>			層間変位量	程 度	備 考	層高の1／300 かつ12mm以内	何ら損傷なく、両仕舞いを含め機能性が確保されている（無損傷）。		層高の1／150 かつ25mm以内	部材に有害な変形が発生せず、ガラスの破損もないが、 シーリングの補修が必要な程度の損傷にとどめる。																						
層間変位量	程 度	備 考																															
層高の1／300 かつ12mm以内	何ら損傷なく、両仕舞いを含め機能性が確保されている（無損傷）。																																
層高の1／150 かつ25mm以内	部材に有害な変形が発生せず、ガラスの破損もないが、 シーリングの補修が必要な程度の損傷にとどめる。																																
	<p>c 気密性能</p> <table><thead><tr><th>部 位</th><th>内外圧力差 Pa</th><th>通気量（m³/h・m²）</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">可動部</td><td>10において</td><td>≧0.04</td><td>メーカーの仕様による</td></tr><tr><td>100において</td><td>≧0.04</td><td>メーカーの仕様による</td></tr><tr><td rowspan="2">はめ殺し部</td><td>10において</td><td>≧0.04</td><td>メーカーの仕様による</td></tr><tr><td>100において</td><td>≧0.04</td><td>メーカーの仕様による</td></tr></tbody></table> <p>d 耐火性能</p> <p>※ 建築基準法施行令第107条および第112条10項による。</p> <p>※ 火煙防止層および層間ふさは法令に基づき、剥離・落下の起こらない耐火措置を施す。</p> <p>※ PCカーテンウォールのパネル接合部目地には耐火認定品の目地材を充填する。</p> <p>e 耐温度差性能</p> <p>部材は年間温度差において、性能・構造・実観上有害な欠陥が発生しないこと。</p> <table><thead><tr><th>部材の種類</th><th>部材の年間温度差</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ 暗色の金属材料</td><td>※ 80℃</td><td></td></tr><tr><td>・ 明色の金属材料</td><td>※ 70℃</td><td></td></tr><tr><td>・ その他の部材</td><td>※ 60℃</td><td></td></tr></tbody></table> <p>f 遮音性能</p> <p>可動部分を含めた総合透過損失がガラスの遮音性能を下回らないものとする。</p> <p>可動部分のない基準層間標準パネル部分の平均透過損失（dB）の性能</p> <p>※ 30dB 以上 ・ 35dB 以上 ・ 40dB 以上</p> <p>g 断熱性能</p> <p>基準層間標準パネル部分の平均熱貫流抵抗値（R）</p> <p>※ 0.3 m²・K/W 以上 ・</p> <p>h 耐久性能</p> <p>一般地域において通常の保守管理されたカーテンウォール部材は、竣工後10年間は有害な損傷がなく、大がかりな修繕を要しないものとする。</p>			部 位	内外圧力差 Pa	通気量（m ³ /h・m ² ）	備 考	可動部	10において	≧0.04	メーカーの仕様による	100において	≧0.04	メーカーの仕様による	はめ殺し部	10において	≧0.04	メーカーの仕様による	100において	≧0.04	メーカーの仕様による	部材の種類	部材の年間温度差	備 考	・ 暗色の金属材料	※ 80℃		・ 明色の金属材料	※ 70℃		・ その他の部材	※ 60℃	
部 位	内外圧力差 Pa	通気量（m ³ /h・m ² ）	備 考																														
可動部	10において	≧0.04	メーカーの仕様による																														
	100において	≧0.04	メーカーの仕様による																														
はめ殺し部	10において	≧0.04	メーカーの仕様による																														
	100において	≧0.04	メーカーの仕様による																														
部材の種類	部材の年間温度差	備 考																															
・ 暗色の金属材料	※ 80℃																																
・ 明色の金属材料	※ 70℃																																
・ その他の部材	※ 60℃																																

⑧材料と取付け方法		a カーテンウォールユニット間のシーリング材 (17.2.2) (9.6.2) (表9.6.1)		o 取付け用金物の表面処理(鉄の亜鉛めっき)および材質 (17.3.2) (14.3.2) (表14.2.2)		17 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		屋内 コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、木部面等、鉄面および亜鉛めっき面は、F☆☆☆☆で低VOC対策品とする。 (表18.16.2)		F-3 アルミニウム面に適用する(メタリックカラー・工場塗装)。			
メタルカーテンウォール (金属)		被覆体の組合わせ		シーリング材の種類 (JIS A 5758)		⑩木部ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		水性系のウレタンクリアー (F☆☆☆☆、VOC対策品) または同等品以上のものに代替する。 種別 ・ A種 ※ B種		24 ラッカーエナメル塗り			
		金属		方立目地		P C打込み金物 ※ E種		※ 水性系ステインに代替する。 ・ 「種仕」 表18.16.1による (面的部分は使用禁止) 。					
		上記以外の目地		MS-2 変成シリコーン系		P C打込み取付ボルト ※ E種		・ A種 ・ B種 ・ C種 :					
P Cカーテンウォール (プレキャストコンクリート)		コンクリート		MS-2 変成シリコーン系		2次フラスナー ※ E種		20 マスチック塗料塗り		25 ウレタン樹脂エナメル塗付塗装			
		石・タイル		-		取付ボルト ※ E種		21 1液形ポリウレタン樹脂エナメル塗付塗装					
		ガラス		-		レベル調整ボルト ※ E種		アルミニウム・亜鉛めっき鋼板・ステンレス類に適用する(工場塗装)。					
		プレキャストコンクリート		MS-2 変成シリコーン系		A種 : 溶融亜鉛めっき付着量 550g/m ² 以上、E種 : 電気亜鉛めっき付着量13μm以上 ※ 上記以外はカーテンウォール製造者の仕様による。		5 工程		26 常温乾燥形アクリルシリコン樹脂塗り			
		石		-				亜地ごしらえ		27 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)			
		ガラス		-				1 エアーブロー					
								2 下塗り					
								3 セッティング		28 多彩模様塗料塗り (EP-M)			
								4 焼付け					
								5 上塗り (1)					
								6 セッティング		29 耐候性鋼材・鋼板 : チタン板 :			
								7 上塗り (2)					
								8 セッティング					
								9 焼付け		30 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								合計膜厚					
								1 エアーブロー					
								2 下塗り		31 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								3 セッティング					
								4 焼付け					
								5 上塗り (1)		32 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								6 セッティング					
								7 上塗り (2)					
								8 セッティング		33 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								9 焼付け					
								合計膜厚					
								1 エアーブロー		34 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								2 下塗り					
								3 セッティング					
								4 焼付け		35 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								5 上塗り (1)					
								6 セッティング					
								7 上塗り (2)		36 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								8 セッティング					
								9 焼付け					
								合計膜厚					
								1 エアーブロー		37 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								2 下塗り					
								3 セッティング					
								4 焼付け		38 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								5 上塗り (1)					
								6 セッティング					
								7 上塗り (2)		39 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								8 セッティング					
								9 焼付け					
								合計膜厚					
								1 エアーブロー		40 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								2 下塗り					
								3 セッティング					
								4 焼付け		41 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								5 上塗り (1)					
								6 セッティング					
								7 上塗り (2)		42 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								8 セッティング					
								9 焼付け					
								合計膜厚					
								1 エアーブロー		43 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								2 下塗り					
								3 セッティング					
								4 焼付け		44 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								5 上塗り (1)					
								6 セッティング					
								7 上塗り (2)		45 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								8 セッティング					
								9 焼付け					
								合計膜厚					
								1 エアーブロー		46 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								2 下塗り					
								3 セッティング					
								4 焼付け		47 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								5 上塗り (1)					
								6 セッティング					
								7 上塗り (2)		48 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								8 セッティング					
								9 焼付け					
								合計膜厚					
								1 エアーブロー		49 鋼板の乾燥を十分に行い、汚れおよび付着物を除去する			
								2 下塗り					

工事区分表

設計図によるほか、下記の ○印、および ⊙印を工事区分（見積区分）とする。疑義を生じた場合は質疑応答書等により確認すること。

工 事 項 目		建築	電気	空調	衛生	昇降機	市	調理機	備 考
1. 共通項目									
1	工事上の各種申請届出費用	○	○	○	○	○			関連工事別
2	工事で電力・上下水道引込工事	○							
3	工事で電力・上下水道料金 (引込負担金・基本料金を含む)	○	○	○	○	○			使用工事別
4	本設電力引込工事		○						引込負担金は別添
5	本設上水引込工事				○				引込負担金は別添
6	本設下水引込工事				○				引込負担金は別添
7	本設ガス引込工事	○							引込負担金は別添
8	本設受電後引渡しまでの電力基本料金	○	-	-	-	-		-	試算転用も含む
9	本設後引渡しまでの上水基本料金	○	-	-	-	-		-	試算転用も含む
10	本設後引渡しまでの下水基本料金	○	-	-	-	-		-	試算転用も含む
11	本設後引渡しまでのガス基本料金	○	-	-	-	-		-	試算転用も含む
12	本設受電後引渡しまでの電力・上下水道・ガス使用料金	○	-	-	-	-		-	試算転用も含む
13	電灯本設引込工事		○						引込負担金は別添
14	既存上下水道・ガス管の撤去・同手続				○				
15	敷地以外の引込負担金 ○ 電気 ・ ガス ○ 上水 ○ 下水		-	-	-	-	○	-	
16	C A T V 引込工事		○					-	
17	工事施工に関する電波障害調査	○							
18	工事施工に関する電波障害対策工事	○							
2. 機械基礎									
1	機械基礎（仕上げ含む）	○							図示による
2	同上アンカーボルト・筋入れ・埋込み	○	○	○	○	○			関連工事別
3. 躯体貫通									
1	地中埋設の透通管・通気管・人通り孔・補強	○							
2	S・S R C 透通鋼管スリーブ・補強	○							
3	R C 透束貫通スリーブ	○	○	○	○	○			関連工事別
4	同上補強(100mmφを超えるもの)	○							
5	床・壁の貫通スリーブ・筋入れ	○	○	○	○	○			関連工事別
6	同上補強(長さ150mm角を超えるもの)	○							
7	各壁貫通穴あけ留めの穴うめ・補修	○	○	○	○	○			関連工事別
8	機械開口の確保・同閉鎖	○							
	同上仕上・重量物搬出入用フック・ビーム取付	○							
4. 躯体以外の開口・貫通									
	(工場製作間仕切り壁)	○							
1	開口・取付枠・補強								
2	(現場製作間仕切り壁)								
1	開口・取付枠・補強	○	○	○	○	○			関連工事別
3	開口切り壁開口部の穴うめ・補修	○	○	○	○	○			関連工事別
4	天井付各種器具の開口・取付枠・補強	○							
5	壁・床の裏付各種器具取付枠・補強	○	○	○	○	○			関連工事別
6	ブロッコ・ルンガの設備機器取付用								
1	開口・取付枠・補強								
7	A L C パネル・押出成形セメント板・P C パネルの壁開口・補強	○							
5. 点検口・ガラリ									
1	外壁取付けガラリ	○							
2	同上 F D ・ V D ・ フィルター類	○		○					関連工事別
3	同上接続用アングル・防鳥防虫ネット								
4	レタリングガラリ	○		○					図示による
5	ドアガラリ	○							
6	点検口(天井・壁・床)	○							
6. 排水工事									
1	屋内雨水排水工事	○							
2	敷地内雨水排水工事	○							図示による
3	敷地内汚水排水工事				○				図示による
4	屋内汚水排水工事				○				
5	敷地外本管への接続						○		最終会所利以降図示
6	R C 選オイルトラップ・グリーストラップ一式	○							
7	オイルトラップ・グリーストラップ(既製品)	○							図示による
8	厨房除外槽駆体	○							
9	同上 設備機器				○				

[illegible]

工 事 項 目		建築	電気	空調	衛生	昇降機		市	調理機	備 考
10. 防災消火設備など										
1	消火栓ボックス		○		○					指示による
2	同上起動用押しボタン・表示灯・電話		○							
3	消火ポンプ制御盤				○					
4	同上起動リレー		○							
5	同上制御盤までの一次側配管配線		○							
6	同上以降の二次側配管配線結線				○					
7	不活性ガス消火用機器・同取付け									
8	同上用制御盤への電源送り									
9	同上用制御盤・電気配管配線									
10	同上より火災受信機盤・制御盤までの電気配管配線									
11	スプリンクラー・泡消火起動用圧力スイッチ									
12	同上制御盤(ポンプユニット)									
13	同上用電源工事									
14	給気ダンパー・同開放装置									
15	同上用化粧がらリ		○		○					指示による
16	給気ダンパー・排煙口運動装置									
17	防災監視盤までの配管配線			○						
18	排煙窓手動開放装置リミットスイッチ		○							
19	同上より防災監視盤までの配管配線結			○						
11. 防火戸など										
1	防火戸・防火シャッター・防火防煙シャッター・可動式防煙幕レール・建具・付属金物・自動閉鎖(開放)装置・作動確認スイッチ・操作スイッチ		○							
2	同上運動制御器・電源・予備電源・煙感知器・上記機器用防火戸盤までの電気配管配線			○						
3	シャッター操作ボタン・マグネットスイッチの二次側配管配線結線		○							
4	防火区画・排煙区画貫通部処理		○	○	○	○	○			関連工事別
12. 自動扉										
1	駆動装置・感知装置		○							制御盤を含む
2	同上配管配線		○							
3	同上電源用一次側配管配線			○						
13. 昇降機設備										
1	機械室の床開口・補強・埋戻し・同補修		○							
2	機械室の床配線ビット・蓋		○							
3	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上		○							
4	巻掛機周囲のチェッカープレート敷					○				
5	昇降路内ビット防水・黒水ます・点検用タラップ		○							
6	各階出入口穴あけ・同補強・埋戻し・同補修		○							
7	出入口三方枠取付用下地鉄骨設置		○							S造の場合
8	出入口扉・三方枠					○				
9	三方枠取付・枠周リ埋戻し・同補修					○				
10	中間ビーム取付・ブラケット支持用ベースプレート取付		○							防錆処理含む
11	機械室天井フック取付け		○							
12	ホール押しボタン・インジケーター・扉床などのコンクリート穴あけ・埋戻し・同補修		○							
13	昇降路・ビット内保守用コンセント			○						
14	機械室電源壁への一次側電気工事		○							
15	機械室電源盤・以降の二次側電気工事					○				
16	昇降かご内スピーカー・インターホン用配管(機械室・昇降路内)					○				
17	同上用配管(上記以外)		○							
18	同上用配線					○				
19	運行監視盤					○				
20	同上配線		○							
21	同上用配管(機械室・昇降路内)					○				
22	同上用配管(上記以外)		○							
23	エスカレーター底部取付のスピーカー・感知器・スプリンクラー									関連工事別
24	同上穴明					○				
25	エスカレーター区画シャッターとのインターロック					○				
26	同上配管・配線									
27	機械室換気設備			○						
28	昇降機工事着手前の昇降路・機械室の清掃		○							
29	昇降機工事着手後の昇降路・機械室の清掃					○				

工 事 項 目		建築	電気	空調	衛生	昇降機	市	調理機	備 考
4. 清掃用ゴンドラ設備									
1	ゴンドラ用レール・アンカーボルト	・							
2	同上用制御盤	・							
3	同上用電源・コンセント		・						
5. 機械駐車設備など									
1	機械駐車設備本体	・							
2	同上箱体・基礎・杭・外装	・							
3	同上制御盤・二次側電気配管配線	・							
4	同上一次側配管配線		・						
5	車路管理装置		・						
6. 厨房設備									
1	厨房機器類の製作取付け				・			○	業務用
2	同上給排水管・ガス管接続				○			・	図示による
3	同上電源コンセント・配管配線		○					・	
4	フード取付け・ダクト接続			○					
5	建築壁通部処理	○							三方枠・シール打
7. その他									
1	格致工事	○							
2	同上散水設備			○					
3	サイン	○							
4	ブラインド	○						・	図示による
5	ブラインドボックス・カーテンボックス	○							
6	同上カーテンレール	○						・	図示による
7	カーテン	○						・	図示による
8	消火器（ボックス）	・		○				・	図示による
9	煙突本体・点検口・排煙口・煙道接続口			○					
10	同上排水口			○					
11	融雪工事	○	○						
8. プレハブ冷蔵庫・冷凍庫									
1	制御盤への電源給電工事		○						一次側つなぎ込み迄
2	制御盤以降、2次側電源配管配線工事							○	
3	制御盤用基礎工事	○						○	
4	防災信号配管配線工事		○						
5	冷蔵庫冷凍庫内照明工事							○	
6	冷凍設備一式							○	
7	同上機器取り付け用基礎	○							
8	各機器指定供給口配管工事							○	
9	壁、床、天井スリーブ埋設・配管工事	○							
10	ドレン排水工事・凍上防止配管			○				○	
11	システム制御盤への電源給電工事		○						一次側つなぎ込み迄
12	システム制御盤以降、2次側電源配管配線工事							○	
13	その他各機器 制御盤への電源給電工事		○						一次側つなぎ込み迄
14	その他各機器制御盤以降、2次側電源配管配線工事							○	
15	温度監視及び温度異常感知設備							○	
16	その他必要な設備							○	
9. 防熱工事									
1	新熱ハネル							○	
2	庫内防湿・断熱・防水工事							○	
3	各吊りインサート工事	○							
4	吊り補強鉄骨	○							
5	押スコン及び仕上、 Cutter 目地等	○							
6	結露防止用ウレタン及び取り合い処理	○						○	
7	その他防熱上必要な処置	○						○	
竣工図									

竣工图



株式会社 I N A 新建築研究所
東京・札幌・東北・名古屋・大阪・九州

訂 正

•	•
•	•
•	•
•	•
•	•
•	•

発行

承認

作成

担当	
----	--

プロジェクト名称

山形市学校給食センター新築工事

国 面 名 称

プロジェクト

508

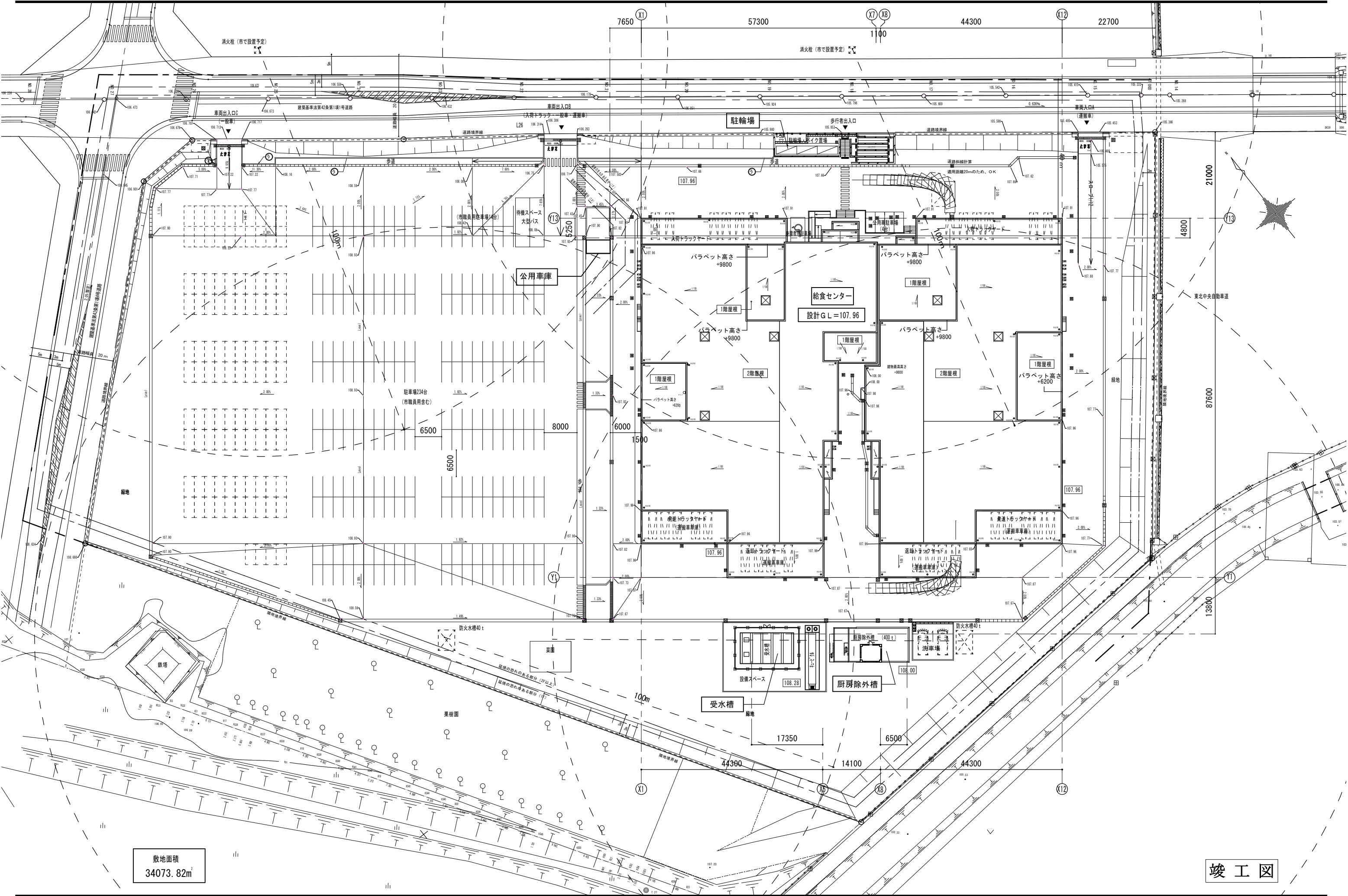
圖面

— 根據此，東京五、東京昭和東京昭和 0100 日。

管理建築士 龍門 連夫

一級建築士登録
第 177289 号 佐藤 英昭

050000



敷地面積
34073.82m²

竣工図

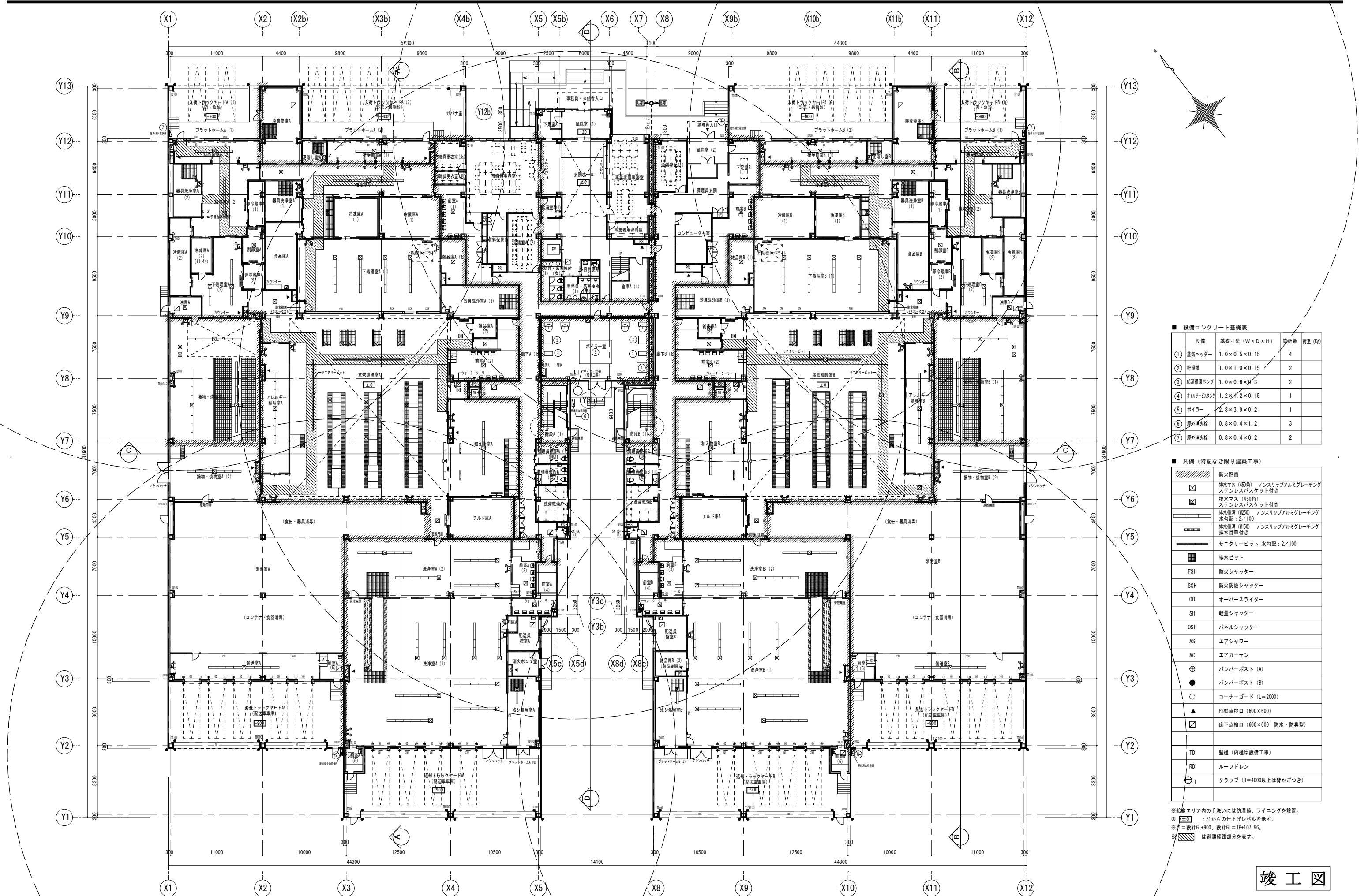


株式会社INA新建築研究所
東京・札幌・東北・名古屋・大阪・九州

訂正

発行	作成	プロジェクト名称	プロジェクトコード	一般建築士事務所 東京都知事登録第3169号
承認 建築部	担当	山形市学校給食センター新築工事	508111	管理建築士 鹿門 達夫
	土屋、西邑	図面名称	図面番号	一般建築士登録 第177289号 佐藤 英昭
		配置図	縮尺 400(A1) 1/800(A3)	A-02

000000

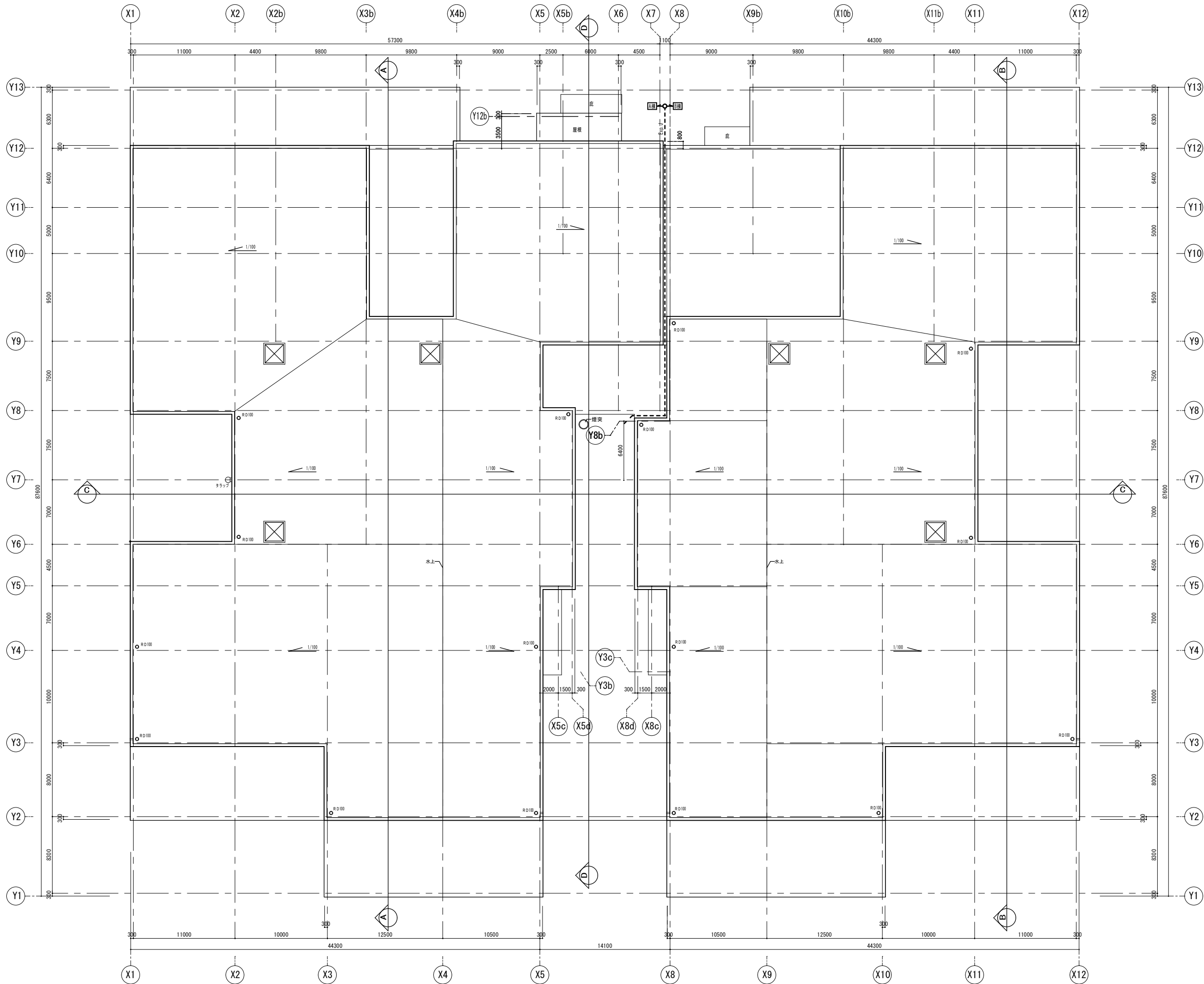


■ 設備コンクリート基礎表				
設備	基礎寸法 (W×D×H)	箇所数	荷重 (kg)	
① 蒸気ヘッダー	1.0×0.5×0.15	4		
② 貯湯槽	1.0×1.0×0.15	2		
③ 給湯循環ポンプ	1.0×0.6×0.3	2		
④ オイルサービスタンク	1.2×1.2×0.15	1		
⑤ ボイラー	2.8×3.9×0.2	1		
⑥ 屋外消火栓	0.8×0.4×1.2	3		
⑦ 屋外消火栓	0.8×0.4×0.2	2		

■ 凡例 (特記なき限り建築工事)	
	防火区画
	排水マス (450角) ノンスリップアルミグレーティング ステンレスバスケット付き
	排水マス (450角) ステンレスバスケット付き
	排水側溝 (R250) ノンスリップアルミグレーティング 水勾配: 2/100
	排水側溝 (R150) ノンスリップアルミグレーティング 排水目皿付き
	サンタリービッド 水勾配: 2/100
	排水ピット
FSH	防火シャッター
SSH	防火防壁シャッター
OD	オーバースライダー
SH	軽量シャッター
OSH	パネルシャッター
AS	エアシャワー
AC	エアカーテン
⊕	バンパーポスト (A)
●	バンパーポスト (B)
○	コーナーガード (L=2000)
▲	PS壁点検口 (600×600)
□	床下点検口 (600×600 防水・防臭型)
TD	堅壁 (内縁は設備工事)
RD	ルーフドレン
⊖T	タラップ (H=4000以上は背かごつき)

※給食エリア内の手洗いには防溢槽、ライニングを設置。
※ ±0 : Z1からの仕上げレベルを示す。
※ ⑦=設計GL+900、設計GL=TP+107.96。
※ は避難経路部分を表す。

竣工図



■ 凡例
オーバーフロー管

竣工図



株式会社INA 新建築研究所
東京・札幌・東北・名古屋・大阪・九州

訂正

・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

発行

作成

プロジェクト名称

山形市学校給食センター新築工事

プロジェクトコード

508111

一般建築士事務所 東京都知事登録第3199号

管理建築士 龍門 達夫

承認

確認

担当

土屋 西邑

図面名称

屋根伏図

縮尺

200 (A1)
1 / 400 (A3)

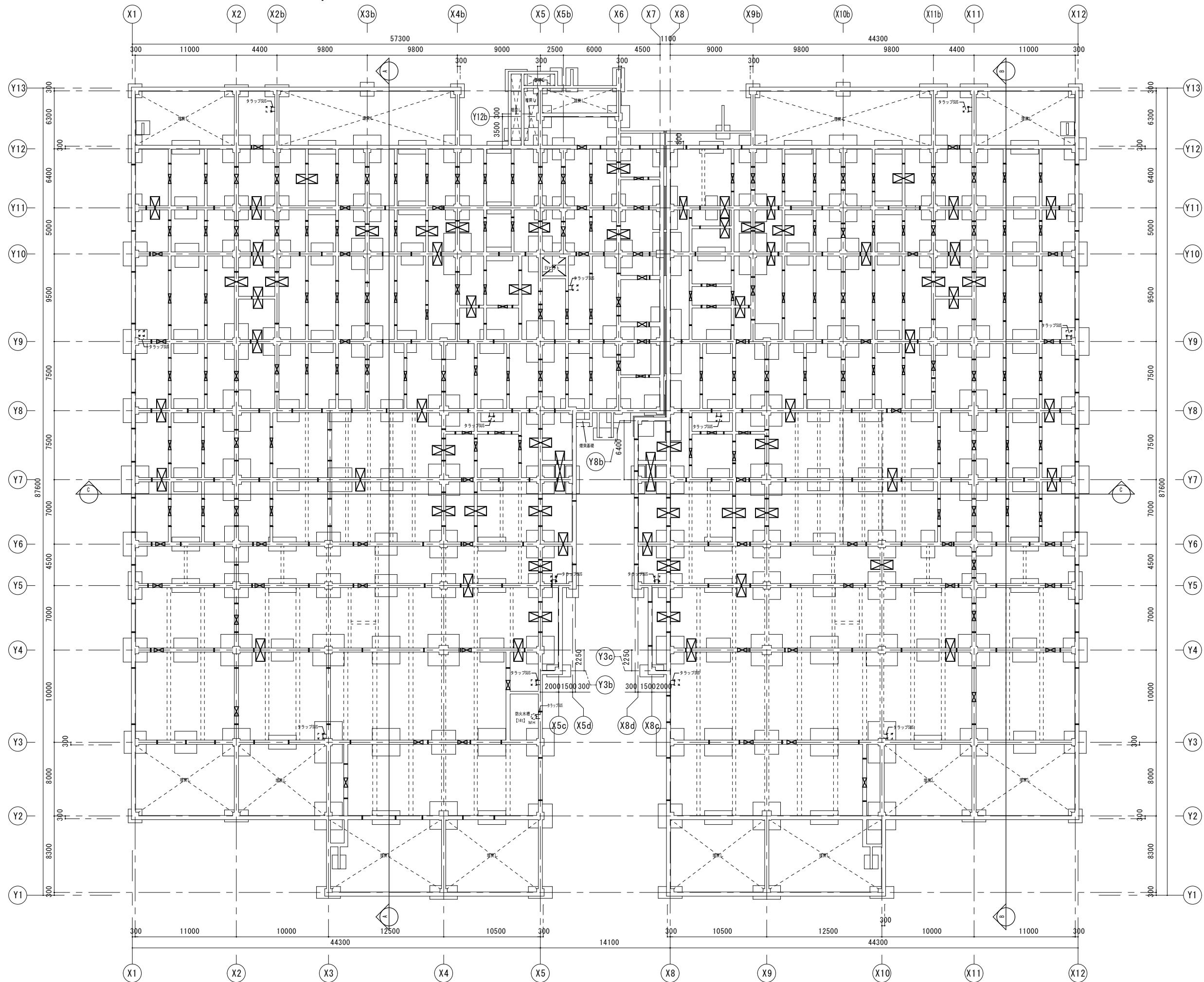
図面番号

A-13

一般建築士登録

第177289号 佐藤 英昭

000000



凡例	
	上部フロアハッチ タラップ扉
	人通り (1m x 2m x 0.9mH)
	人通り (800φ)
	マンホール (800φ)
	通気口・通気口 100φ
	埋戻し (それ以外の部分は全てコンクリートのこと)

※ビット天端はZ1-2250とする

竣工図



株式会社INA 新建築研究所
東京・札幌・東北・名古屋・大阪・九州

訂正

発行

作成

承認

担当

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

土屋 西邑

プロジェクト名
山形市学校給食センター新築工事

プロジェクトコード
508111

一般建築士事務所 東京都知事登録第 3199 号
管理 建築士 龍門 達夫

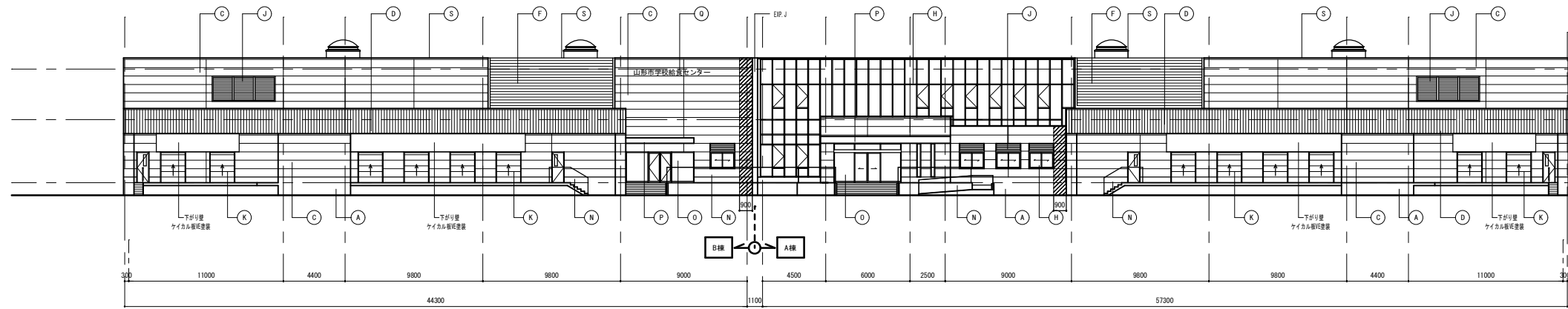
図面名称
ビット平面図

縮尺
200 (A1)
1 / 400 (A3)

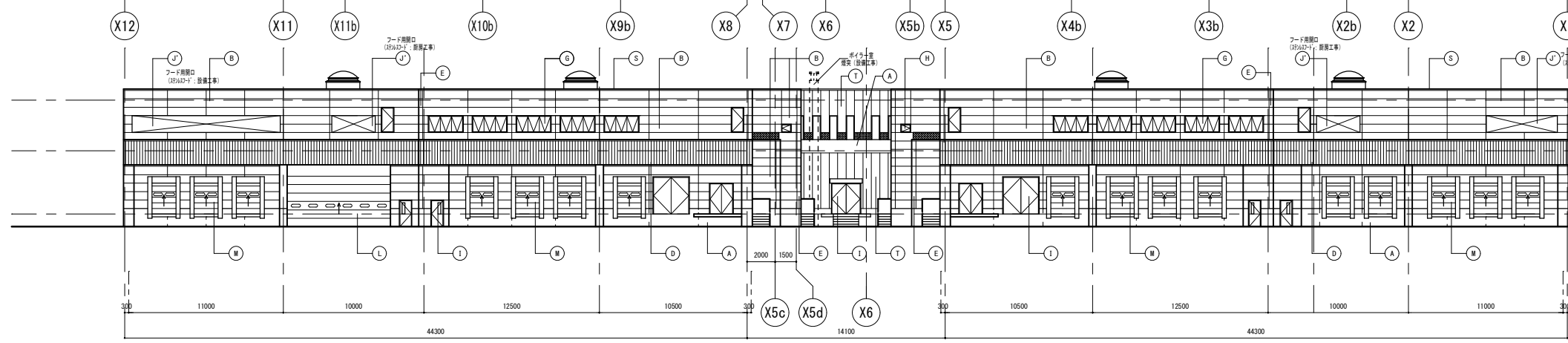
図面番号
A-10

一般建築士登録
第 177289 号 佐藤 英昭

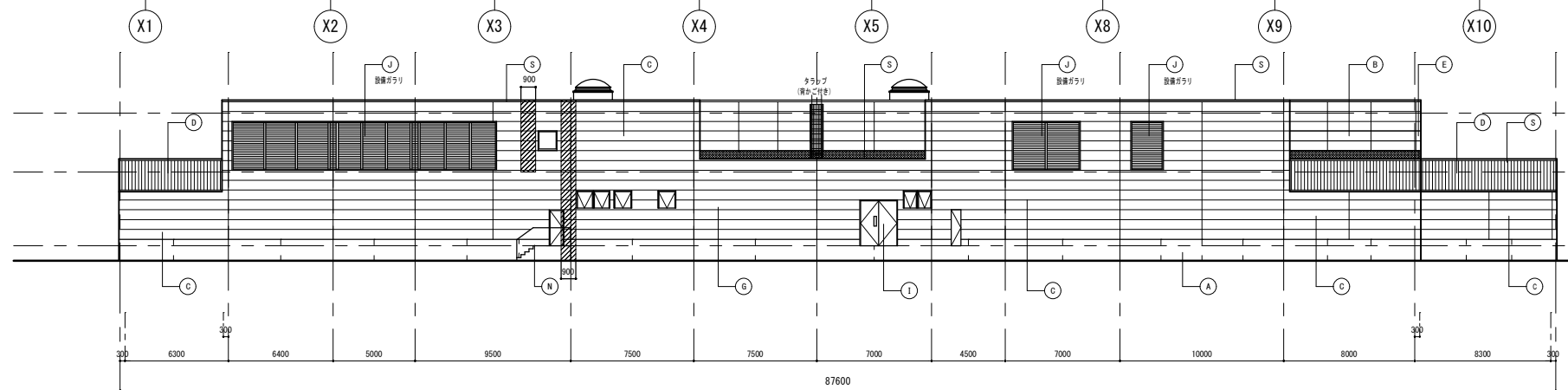
080830



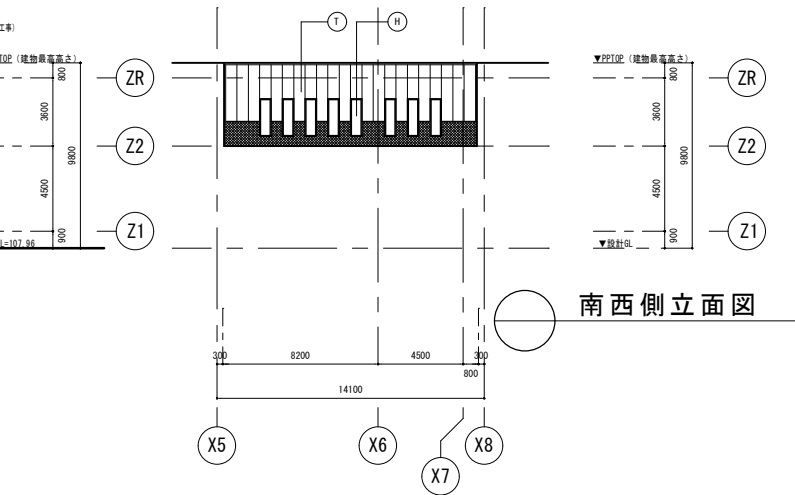
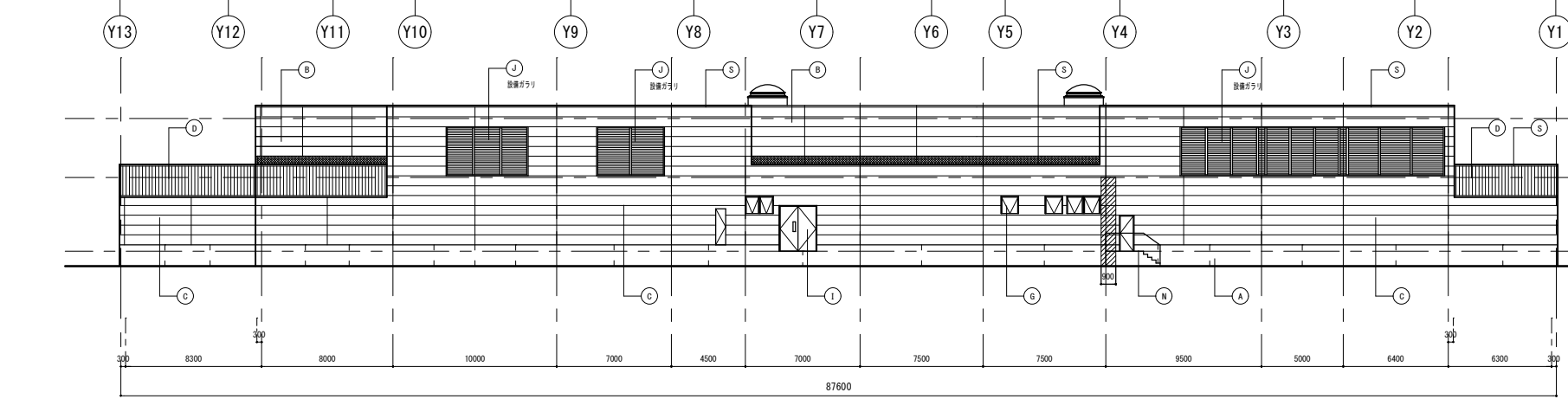
北東側立面図



北西側立面図



南東側立面図

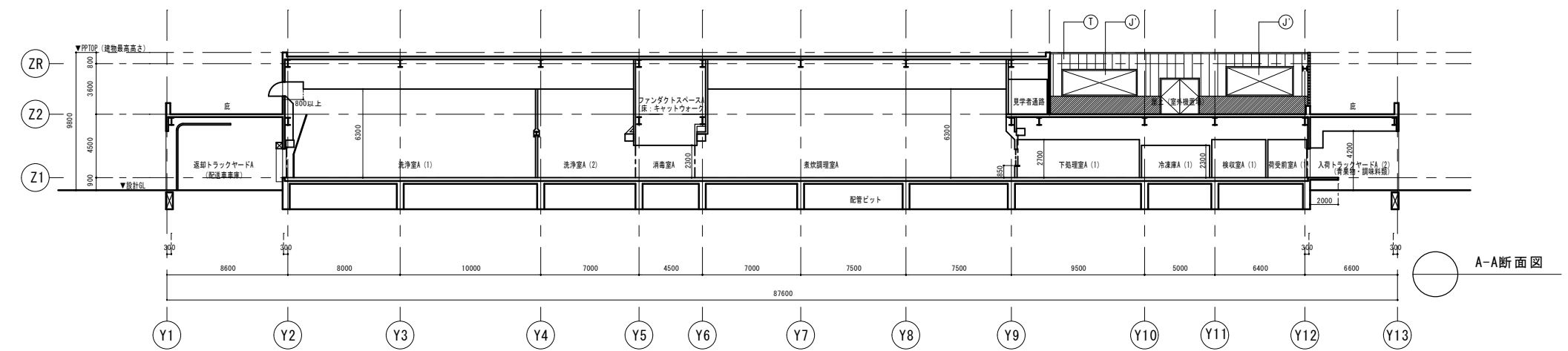


南西側立面図

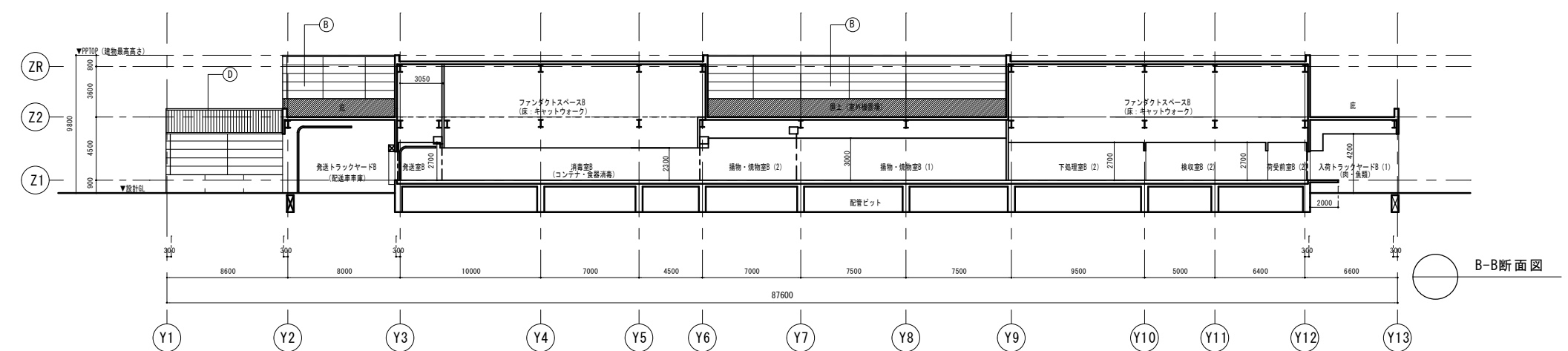
※平均GL＝設計GL＝107.96とする。
※ 斜線部は区画バンドレル部を示す。

仕上凡例			
記号	部位	仕上	備考
(A)	外壁 窓部	コンクリート打放し補修付タイル 伸縮目地は1,000以内	
(B)	外壁	ALC100：(縦貼り)、吹付タイル	
(C)	外壁	断熱サンドウィッチ断熱板 (縦付け設置) 縦貼り (アイジー工業・耐火ヴァンド)	
(D)	外壁	角型サイディング (縦貼り)	
(E)	外壁出隅コーナーパネル	1000	
(F)	目隠しルーバー	アルミ製ルーバー	
(G)	押入れ	アルミパネル	
(H)	開口部	アルミサッシ、アルミカーテンウォール	
(I)	開口部	鋼製建具	
(J)	開口部 (ガラス)	アルミ製ガラス	
(K)	フード開口	ステンレスフード (防錆及び断熱工事)	
(L)	開口部 (入荷側シャッター)	電動パネルシャッター (文化シャッター・パネルック両準品)	
(M)	開口部 (トラックヤード側シャッター)	オーバースライダー	
(N)	開口部 (奥庭、道路側シャッター)	オーバースライダー、ドッグシールド付	
(O)	手摺		
(P)	開口部 (玄関)	ポンチ鋼板1.6t加工 (縦付設置)	
(Q)	外壁サイン	高文字SS	
(R)	壁紙	SS	
(S)	窓木	アルミ既成品	
(T)	外壁	ALC100：(縦貼り)、吹付タイル	

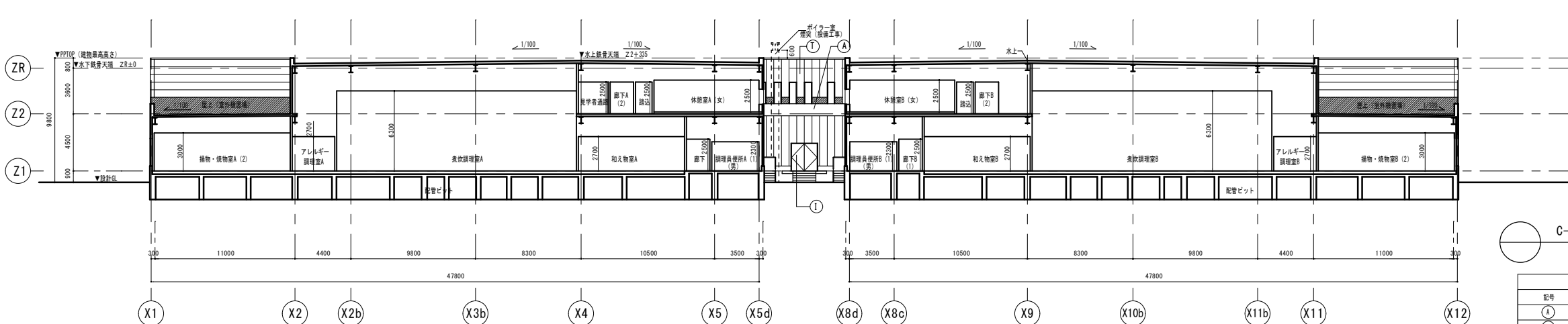
竣工図



A-A断面図

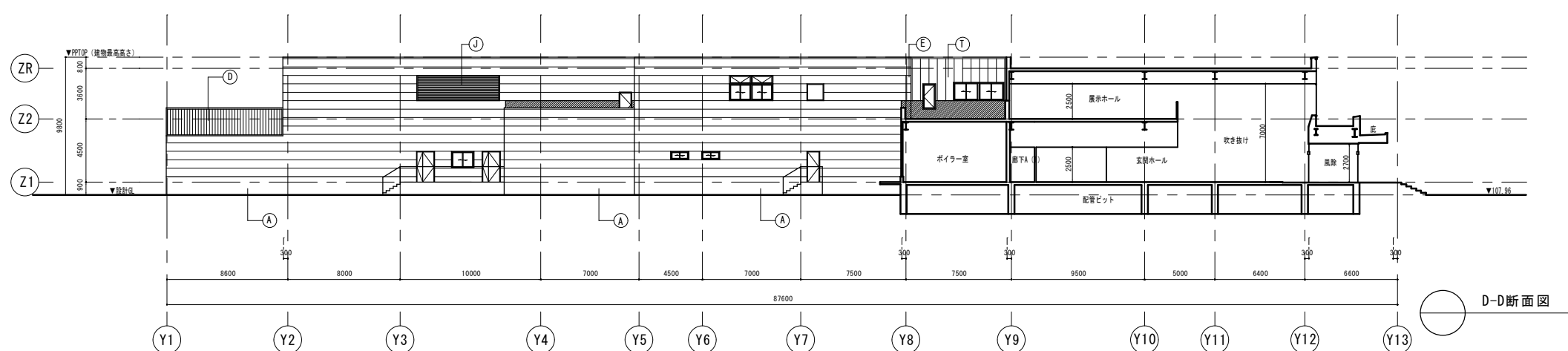


B-B断面図



C-C断面図

※平均GL＝設計GL＝107.96とする。



D-D断面図

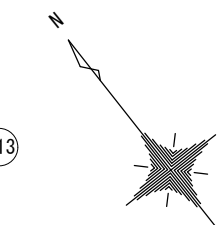
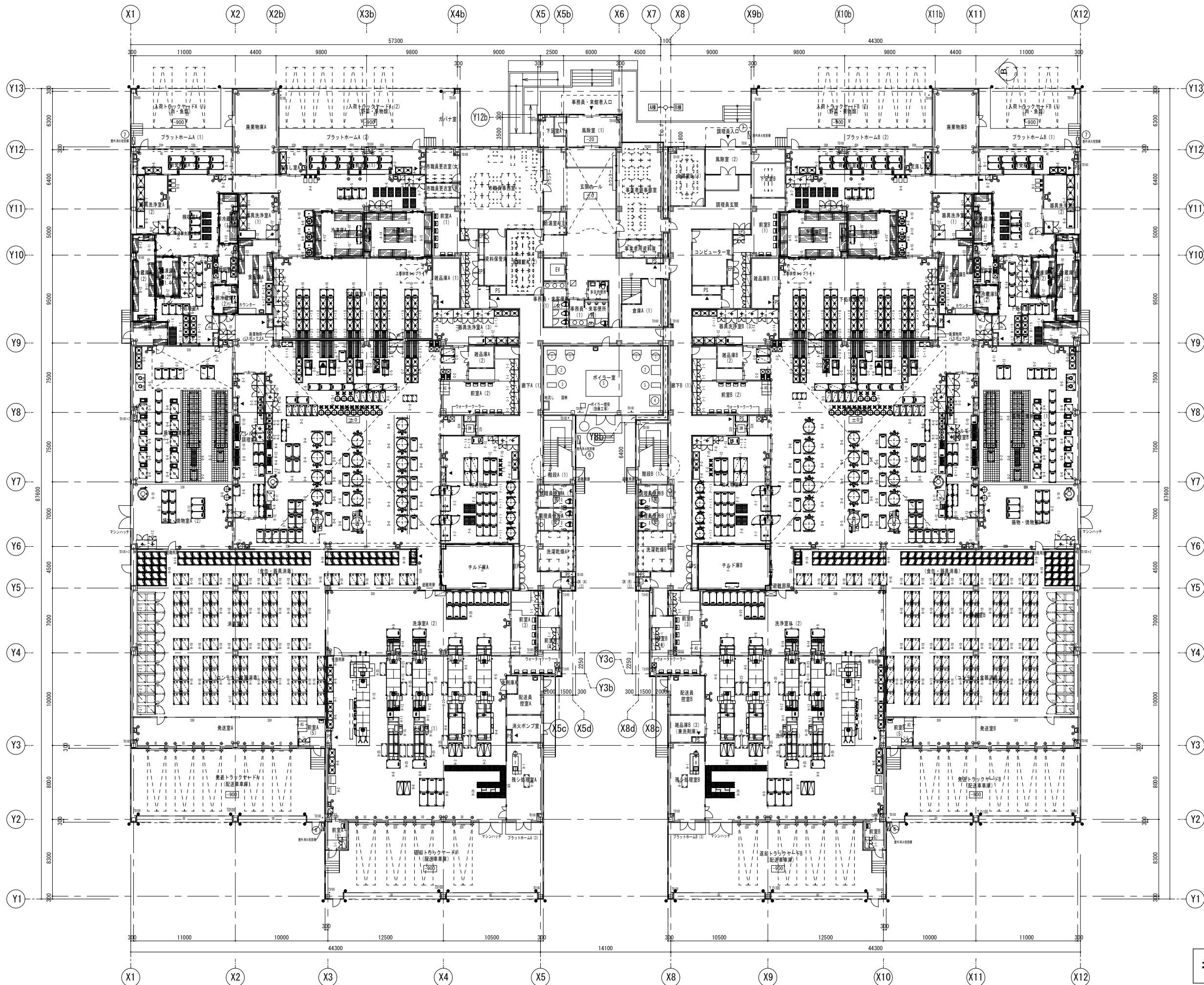
仕 上 凡 例			
記号	部位	仕 上	備考
(A)	外壁 露部	コンクリート打直し補修吹付タイル 伸縮目地φ3,000内外	
(B)	外壁	ALC100 t (縦貼リ)、吹付タイル	
(C)	外壁	断熱サンドウィッチ断熱板 (横付け塗装) 横貼リ (アイジー工業：耐火ワンド	
(D)	外壁	ボルトレス角張サイディング (縦貼リ)	
(E)	外壁出隅コーナーパネル	W-300	
(F)	目隠しルーバー	アルミルーバー	
(G)	排煙窓	アルミパネル	
(H)	開口部	アルミサッシ、アルミカーテンウォール	
(I)	開口部	鋼製建具	
(J)	開口部 (ガリ)	アルミ製ガリ	
(K)	フード用開口	ステンレスフード (設備及び厨房工事)	
(L)	開口部 (人荷物シャッター)	電動パネルシャッター (文化シャッター：パネルック同等品)	
(M)	開口部 (トラックヤード用シャッター)	オーバースライダー	
(N)	開口部 (送達、送卸用シャッター)	オーバースライダー、ドッグシェルター付	
(O)	手摺		
(P)	開口部 (玄関)		
(Q)	玄関扉	ボンデ鋼板1.6 t 加工 (横付け塗装)	
(R)	外壁サイン	箱文字SUS	
(S)	壁紙	SUS	
(T)	窓木	アルミ製成品	
(U)	外壁	ALC100 t (縦貼リ)、吹付タイル	

竣工図



株式会社 I N A 新建築研究所
東京・札幌・東北・名古屋・大阪・九州

訂 正	・	・	発 行			作 成	プロジェクト名称 山形市学校給食センター新築工事	プロジェクトコード 508111	一級建築士事務所 東京都知事登録第 3166 号 管理 建築士 龍 門 達 夫	
	・	・								
	・	・	承認 確認			担 当 土屋 西 邑 。	図 面 名 称 断面図	縮 尺 200 (A1) 1 / 400 (A3)	図 面 番 号 A-15	一級建築士登録 第 177289 号 佐 藤 英 昭
	・	・								
	・	・								



参考図 竣工図



株式会社INA新建築研究所
東京・札幌・東北・名古屋・大阪・九州

訂正

2007.08.24	

発行	作成
承認	担当
	土屋 西邑

プロジェクト名称	山形市学校給食センター新築工事
図面名称	厨房機器配置図
縮尺	200(A1) 1/400(A3)
図面番号	A-63

プロジェクトコード	508111
一般建築士事務所	東京昭知建築設計事務所
管理建築士	龍門 達夫
一般建築士登録	第177289号 佐藤 英昭

厨房設備器具明細表

No	品 名	形 式	規 格 寸 法			台 数	配 管 接 続 口 径			ガ ス (LPG)		電 気 (50Hz) kW			フ イ ド	蒸 気			冷 却 水			備 考
			W	D	H		給 水	給 湯	排 水	口 径	kW	単相 100V	単相 200V	三相 200V		供 給	戻 り	kg/h	供 給	戻 り	l/min	
	＜野菜類検収室・下処理室＞																					
	(野菜検収室)																					
A-1	保存食用冷凍庫	SRF-G1263S	1210	600	2000	2			間接40					0.538								有効内容積825L
2	2槽シンク	DS2-247B	2400	750	850	1	20×2	20×2	40×2													ドライ仕様
2'	2槽シンク	DS2-187B	1800	750	850	1	20×2	20×2	40×2													ドライ仕様
3	運搬台		1500	750	600	12																ドライ仕様
4	台秤	DP-6100GP-150	350	640	784	3																
5	移動台	DTM-127	1200	750	850	4																ドライ仕様
6	L型運搬車	DLK-96	900	600	800	8																ドライ仕様
7	器具消毒保管庫	ISC-W50F-E	2200	950	1880	1								17.7								
8	掃除用具入れ		500	500	1800	1																
9	ピーラー	PL-82N-M	850	850	1060	3	20		ピット					0.75								
10	移動受台		900	750	600	3																
	(器具洗浄室1)																					
11	1槽シンク	DS1-139B	1300	900	850	3	20	20	40													ドライ仕様
12	作業台	DT-189B	1800	900	850	1			32													ドライ仕様
12'	器具消毒保管庫	ISC-W30F-E	1290	950	1880	1								9.75								
	(冷蔵庫・冷凍庫)																					
13	冷凍庫		5300	4850		1			25			0.5		8.0								打合せ要
14	冷蔵庫		7350	4850		1			25 FDD1			0.3		4.2								打合せ要
15	ラック (冷蔵庫用)	SLMS1520-PS1590	1518	766	1587	10																
15'	ラック (カート付・冷蔵庫用)	SLMS1520-PS1590	1518	766	1587	4																
15"	ラック (冷凍庫用)	SLMS1520-PS1590	1518	766	1587	9																
	(下処理室)																					
16	包丁まな板殺菌庫	DS-114A	850	600	1430	2						0.587										
17	掃除用具入れ		500	500	1800	1																
18	移動台	DTM-97	900	750	850	10																ドライ仕様
19	1槽シンク	DS1-127B	1200	750	850	30	20	20	40													ドライ仕様
20	渡し台		2950	750	600	10			32×2													ドライ仕様、渡し板付
21	器具消毒保管庫	ISC-W50F-E	2200	950	1880	2								17.7								
22	パススルー冷蔵庫	SRR-FP1583AD	1460	850	2000	1			間接40					0.756								有効内容積1514L
	(食品庫)																					
23	ラック	LS1520-P1590	1518	613	1587	5																
23'	ラック (カート付)	LS1520-P1590	1518	613	1587	3																
24	移動台	DTM-127	1200	750	850	1																ドライ仕様
25	電動缶切機	EC-1	230	475	530	1						0.3										
26	3槽シンク	DS3-217B	2100	750	850	1	20×3	20×3	40×3													ドライ仕様
27	作業台	DT-127B	1200	750	850	1			32													ドライ仕様
	＜肉魚検収室・下処理室＞																					
	(検収室)																					
B-1	運搬車		1500	750	600	8																ドライ仕様
2	掃除用具入れ		500	500	1800	1																
3	台秤	DP-6100GP-150	350	640	784	3																
4	移動台	DTM-127	1200	750	850	4																ドライ仕様
5	L型運搬車	DLK-96	900	600	800	4																ドライ仕様
6	2槽シンク	DS2-187B	1800	750	850	1	20×2	20×2	40×2													ドライ仕様
	(器具洗浄室2)																					
7	1槽シンク	DS1-139B	1300	900	850	3	20	20	40													ドライ仕様
8	作業台	DT-189B	1800	900	850	1			32													ドライ仕様
8'	器具消毒保管庫	ISC-W30F-E	1290	950	1880	1								9.75								
	(冷蔵庫・冷凍庫)																					
9	肉魚用冷凍庫		2450	4250		1			25			0.3		3.8								打合せ要
10	肉魚用冷蔵庫		9350	2400		1			25 FDD1			0.3		4.0								打合せ要
11	ラック (冷蔵庫用)	SLS1220-PS1590	1212	613	1587	4																
12	ラック (冷蔵庫用)	SLS1820-PS1590	1821	613	1587	5																
12'	ラック (冷凍庫用)	SLS1820-PS1590	1821	613	1587	4																
	(下処理室)																					
13	器具消毒保管庫	ISC-W50F-E	2200	950	1880	2								17.7								
14	移動台	DTM-127	1200	750	850	8																ドライ仕様

注1: 上記接続工事並びに消費量ハ各器具ニ於ケル1台ヲ示ス

注2: 台数表示ハ1棟当リノ台数ヲ示ス

参考図

竣工図



株式会社INA 新建築研究所
東京・札幌・東北・名古屋・大阪・九州

訂正

発行

承認

確認

作成

2007.08.24

プロジェクト名称

山形市学校給食センター新築工事

担当

土屋 西邑

図面名称

調理機リスト(1)

縮尺

1(A1) / 2(A3)

図面番号

A-64

プロジェクトコード

508111

一般建築士事務所 東京認知事登録第3106号

管理建築士 龍門 達夫

一般建築士登録

第177289号 佐藤 英昭

new

厨房設備器具明細表

No	品 名	形 式	規 格 寸 法			台 数	配 管 接 続 口 径			ガ ス (LPG)		電 気 (50Hz) kW			フ ィ ャ ード	蒸 気			冷 却 水			備 考
			W	D	H		給 水	給 湯	排 水	口 径	kW	単相100V	単相200V	三相200V		供 給	戻 り	kg/h	供 給	戻 り	l/min	
15	3槽シンク	DS3-217B	2100	750	850	2	20×3	20×3	40×3													ドライ仕様
15'	移動台	DTM-97	900	750	850	2																ドライ仕様
16	バススルー冷蔵庫	SRR-FP1583AD	1460	850	2000	1			間接40					0.756								有効内容積1514L
17	掃除用具入れ		500	500	1800	1																
	(割卵室)																					
18	卵冷蔵庫 (1)		5350	1950		1			25 F000			0.2		2.3								打合せ要
19	卵冷蔵庫 (2)		3050	2600		1			25 F000			0.1		1.4								打合せ要
20	ラック	SLMS1520-PS1590	1518	766	1587	3																
21	ラック	SLS1520-PS1590	1518	613	1587	2																
22	3槽シンク	DS3-217B	2100	750	850	1	20×3	20×3	40×3													ドライ仕様
23	割卵機	EG-60S	500	750	1250	1						0.3										
24	移動台	DTM-126	1200	600	850	1																ドライ仕様
25	ドライ式高速度ミキサー	MX-40S-M	420	590	1060	2						0.4										能力:6kg/回
	ドライ式高速度ミキサー用受台	MX-MS	500	530	900	2																
	＜上処理室＞																					
C-1	器具消毒保管庫	ISC-W50F-E	2200	950	1880	1								17.7								
2	ドライ式高速度ミキサー	MX-40S-M	420	590	1060	4						0.4										能力:6kg/回
	ドライ式高速度ミキサー用受台	MX-MS	500	530	900	4																
3	フードカッター置台	DTM-157 (H600)	1500	750	600	1																ドライ仕様
4	フードカッター	FD-50S	640	530	530	2								0.4								能力:100~180kg/h (野菜)
5	ドライ用移動式フードスライサー	HAS-10C-M	850	800	895	4	15×2		側溝					0.95								
	移動受台 (移動式フードスライサー用)	HAS-10C-M#1	850	700	953	4			側溝													
6	ドライ対応移動式サイノ目切機	CBM-40-M	800	700	895	1								0.4								
	移動受台 (移動式サイノ目切機用)	CBM-40-M#1	850	700	953	1			側溝													
7	3槽シンク	DS3-277B	2700	750	850	4	20×3	20×3	40×3													ドライ仕様
8	移動ラック	DRM-157	1500	750	1390	5																
9	移動台	DTM-127	1200	750	850	7																ドライ仕様
10	包丁まな板殺菌庫	DS-114A	850	600	1430	3						0.587										
	(器具洗浄室3)																					
11	作業台	DT-189B	1800	900	850	1			32													ドライ仕様
12	1槽シンク	DS1-129B	1200	900	850	3	20	20	40													ドライ仕様
13	3槽シンク	DS3-267B	2650	750	850	1	20×3	20×3	40×3													ドライ仕様
14	器具消毒保管庫	ISC-W50F-E	2200	950	1880	2								17.7								
	＜調理室＞																					
D-1	スパテラスタンド					15																
2	ザル置台	DBM-600	Φ600		600	13																ドライ仕様
3	調味料ラック	DRM-126	1200	600	1390	10																
4	蒸気回転釜	SRB-400NR-D	1920	1300	945	14	20	20	ビット							25	25	130				容量:420L
5	蒸気式グランドケトル	KSM-800	2150	1000	1750	2	20	20	ビット					1.55		25	25	210				
6	盛付台		1500	750	600	22																ドライ仕様
6	盛付台		1500	750	600	6																ドライ仕様
7	掃除用具入れ		500	500	1800	1																
	＜アレルギー専用調理室＞																					
E-1	掃除用具入れ		500	500	1800	1																
2	冷凍冷蔵庫	SRR-G1283C2	1210	800	2000	2			間接40					0.628								有効内容積 (F) 646L, (R) 546L
3	3槽シンク	DS3-187B	1800	750	850	1	20×3	20×3	40×3													ドライ仕様
4	吊戸棚		2400	350	600	1																
5	作業台	DT-127B	1200	750	850	1			32													ドライ仕様
6	移動台	DTM-127	1200	750	850	2																ドライ仕様
7	器具消毒保管庫	ISC-W20F-E	910	950	1880	2								7.95								
8	ガスレンジ	GRV-0973B	900	750	850	2				25	32.7				G							
9	ガステーブル	GTV-0973B	900	750	850	2				20	23.7				G							
10	作業台	DT-97B	900	750	850	2			32													ドライ仕様
11	キャビネット付移動台		1200	600	850	5																
12	移動台	DTM-126	1200	600	850	5																ドライ仕様
13	温蔵庫	HFC-06G	600	800	1880	1	15		高温25					3.1								ガラス扉、棚10段、別途浄排水需要

注1:上記接続工事並び消費量ハ各器具ニ於ケル1台ヲ示ス

注2:台数表示ハ1棟当リノ台数ヲ示ス

参考図

竣工図



株式会社INA 新建築研究所
東京・札幌・東北・名古屋・大阪・九州

訂正

-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-

発行

承認	確認
----	----

作成

2007.08.24

プロジェクト名称

山形市学校給食センター新築工事

プロジェクトコード

508111

図面番号

A-65

総尺
1 / 2 (A1)

一面建築士登録
第177289号 佐藤英昭

厨房設備器具明細表

No	品 名	形 式	規 格 寸 法			台 数	配 管 接 続 口 径			ガ ス (LPG)		電 気 (50Hz) kW			7 1 ド	蒸 気			冷 却 水			備 考
			W	D	H		給 水	給 湯	排 水	口 径	kW	単相100V	単相200V	三相200V		供 給	戻 り	k g / h	供 給	戻 り	l / min	
	<和え物室>																					
F-1	移動ラック	DRM-157	1500	750	1390	4																
2	移動台	DTM-127	1200	750	850	12																ドライ仕様
3	2槽シンク（蓋付）	DS2-187B	1800	750	850	1	20×2	20×2	40×2													ドライ仕様
4	作業台	DT-127B	1200	750	850	1			32													ドライ仕様
5	スパテラストンド					4																
6	L型運搬車	DLK-96	900	600	800	4																ドライ仕様
7	真空冷却機（バスルー式）		2800	1370	1900	2	25		20×2 高温25・40					5.5		25		64				
8	チルド庫		7750	4900	2500	1			20×2 200×4			1.2		10.8								打合せ要、37.4㎡
9	包丁まな板殺菌庫	DS-113	600	500	1030	1						0.537										
10	器具消毒保管庫	ISC-W50F-E	2200	950	1880	1								17.7								
11	和え物用回転釜	SRB-200NR-D-BX-W	1656	975	927	4	20	20	20×2 32													最大容量220L
12	運搬台		1500	750	600	4																ドライ仕様
13	掃除用具入れ		500	500	1800	1																
	<揚げ物・焼物室>																					
G-1	ラック	LS1820-P1590	1821	613	1587	2																
1'	ラック	LS1520-P1590	1518	613	1587	1																
2	移動台	DTM-127	1200	750	850	20																ドライ仕様
3	3槽シンク	DS3-247B	2400	750	850	1	20×3	20×3	40×3													ドライ仕様
4	スチームコンベクションオーブン	NL-120F-GM	1050	880	2020	10	20		高温間接50	20	51.2			2.3	G							
5	大型蒸し器	NSCA-1	930	1010	2135	2	20		蒸気口 排水口			0.43			H	20	20	110				内1台逆勝手仕様、別途浄排水需要
6	連続式揚物機	FAG-N6L-T	6100	1427	1770	1	20	20	高温25	25×2	220.9					0.26	G					油量215L
7	連続式揚物機	FAG-N6L-T	6100	1427	1770	1	20	20	高温25	25×2	220.9					0.26	G					油量215L
8	油切りコンベヤ	MW-600-N	1800	600	620	2										(0.06)						
9	油濾過機	MK-700	750	595	850	2										0.75						
10	ガス回転釜	DGK-60CFT-D-F	1290	1140	820	1	20	20	ピット	20	50.0				G							最大容量200L
11	掃除用具入れ		500	500	1800	1																
12	器具消毒保管庫	ISC-W50F-E	2200	950	1880	1								17.7								
13	運搬台		1500	750	600	5																ドライ仕様
	<洗浄室>																					
H-1	減容機	NLK-200	2219	1013	1650	1			20×2 排水口					3.7								
2	コンプレッサー	POD-3.7M5/6	917	720	999	2			FD25					3.7								架台付、エア配管設備工事
3	移動シンク	HMS-157D	1500	750	850	4																
4	食缶下洗機	NPCW-2C-8	2950	1800	2040	2	20	20	20×2 40					6.3		25		10				
5	食缶洗浄機	CWX4-8NU-M	7250	1650	2205	2	20×2	20 25	20×2 40×2					28.5	D	25×2	20	300				
6	3槽シンク	DS3-277B	2700	750	850	3	20×3	20×3	40×3													ドライ仕様
7	作業台	DT-127B	1200	750	850	2			32													ドライ仕様
8	移動シンク	HMS-157D	1500	750	850	2																
9	移動台	DTM-159	1500	900	850	12																ドライ仕様
10	自動食器浸漬槽	JET-46BC	4600	1590	1390	2	20	20×2	20×2 排水口					2.6		20		110				
11	脇台		700	700	850	2			32													
12	食器自動供給装置	NCAP-6D	1360	900	1225	2						(0.41)										
13	食器洗浄機	DWX4-2NU5B-M	7700	1550	2305	2	20×2	25 25	20×2 排水口							28.76	D	25×2	20	320		
14	食器自動整理装置	CAPU-6D・C				2						(0.23)										
15	コンテナ洗浄機	COW-C-MD	8700	2660	3050	1	20×2	25	20×2 排水口					11.4	D	25×2 32		490				
16	食缶・器具消毒装置		31000	4400		1								146.0				4000				打合せ要（天井裏ベース・天井穴・部屋建築工事）
17	コンテナ消毒装置		21100	13750		1										20×16 （280）		20×16 （280）				打合せ要（天井裏ベース・天井穴・部屋建築工事）
18	コンテナ		1270	800	1540	102																
19	食缶保管用カート					78																
20	運搬台		1500	750	600	12																
21	保管用カート		750	800	1720	24																
22	保管用カート収納庫		2200	2000	2250	6																打合せ要
23	掃除用具入れ		500	500	1800	1																
24	残滓計量コンベア				600	1			25×4			0.6										打合せ要
25	洗浄脇台		1400	600	400	15																移動式

注1:上記接続工事並び消費量ハ各器具ニ於ケル1台ヲ示ス

注2:台数表示ハ1棟当リノ台数ヲ示ス

参考図

竣工図



株式会社INA 新建築研究所
東京・札幌・東北・名古屋・大阪・九州

訂正

-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

発行

承認 確認

作成

担当

プロジェクト名称

図面名称

調理機リスト (3)

縮尺

1 / 2 (A3)

図面番号

A-66

一般建築士事務所 東京都知事登録第 5169 号

一級建築士登録 第 177289 号 佐藤 英昭

[illegible]

注2:台数表示ハ1棟当リノ台数ヲ示ス

竣工図